

公田東 I区1号周溝墓(4)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-25	土師器 底部穿孔小型壺	No83周溝部	体部1/3残存	残存高10.7 体部最大径(14.9) 底径(5.0)	④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥にぶい黄 橙色10YR7/3	体部はわずかに偏球形をなし、底部は焼成前の穿孔。 体部外面撫で、器面やや摩滅、内面撫で、輪積み痕明瞭。
P-26	土師器 底部穿孔小型壺	No39周溝部 覆土	体部1/3残存	残存高10.4 体部最大径 (13.6)	④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥にぶい橙 色10YR6/3	体部は球形をなす。外面粗い撫で、刷毛目を多く残す。 内面撫で、輪積み痕明瞭。 P-23~26は整形にわずかの差があるが、器形等が類似した小型壺である。
P-27	土師器 壺	No81-No81- 2周溝部	ほぼ完形	器高32.8 口径15.8 体部最大径29.0 底径10.3	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色7.5 YR7/6	口縁部は外傾して開き、端部は肥厚する。頸部は丸く 屈曲。体部は球形で、底部は上げ底。口縁部外面縦位 の磨き、内面撫で。体部外面横位・斜位の磨き、内面 撫で。
P-28	土師器 底部穿孔壺	No23周溝部 覆土	ほぼ完形	器高40.3 口径16.4 体部最大径31.7 底径8.5	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥にぶい橙 色7.5YR7/4	口縁部は外反し端部は丸い。頸部は緩やかに括れる。 体部はやや長胴で、中位に最大径をもつ。底部は上げ 底で焼成前の穿孔。口縁部内外面横撫で。口縁部~頸 部外面縦位の刷毛目、内面横位の刷毛目。体部内外面 撫で、刷毛目を多く残す。体部下端外面篋削り。
P-29	土師器 底部穿孔壺	No82周溝部 覆土	ほぼ完形	器高39.1 口径16.0 体部最大径33.4 底径10.2	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥にぶい橙 色7.5YR7/4	口縁部は外反し端部は平坦。頸部は「く」の字に屈曲。 体部はやや長胴で、中位に最大径をもつ。底部は突出 する平底で、焼成前の穿孔。口縁部~頸部外面縦位の 刷毛目、内面横位・斜位の刷毛目。体部外面横位・斜 位の刷毛目、下半接合部横位の撫で。内面斜位の撫で、 一部に刷毛目を残す。部分的に輪積み痕・接合痕を残 す。
P-30	鶏形土製品	周溝部北西 台状部側	尻部、左側 面一部欠損	長さ23.8 高さ11.6	④砂粒を含む。 ⑤良好 ⑥にぶい橙 色7.5YR7/4	胴部中央、上下に径1.6cmの円孔が貫通する。尾は写 実的でなく円盤状に作る。頭部も鶏冠とくちばしを作 るのみである。肉髯は認められない。
P-31	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	口縁部~頸 部片		④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥灰黄褐色 10YR4/2	口縁部は外反して開き端部はわずかに内反する。頸部 は緩やかに括れる。内外面撫で調整。口縁部内外面 には端軸絡条体第6A類Rが施され、頸部には6条1 単位の左回り簾状文が施されている。1号周溝墓盛土 下より出土した弥生土器は後期に属する東関東系(P -43・49を除く。)の土器と考えられる。
P-32	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	口縁部片		④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥灰黄褐色 10YR5/2	口縁部は外反して開き端部はわずかに内反し、上端に 刻みが加えられている。内外面撫で調整。外面に単軸 絡条体第1類Rが施されている。
P-33	弥生土器 高坏	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	口縁部片		④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥にぶい黄 橙色10YR7/3	口縁部は直線的に開く。内外面とも撫で調整。内外面 に単軸絡条体第1類Rが施されている。
P-34	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	口縁部片		④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥にぶい橙 色7.5YR6/4	折り返し口縁で、内外面撫で調整。内外面に単軸絡条 体第1類Rが施されている。
P-35	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	口縁部片		④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥灰黄褐色 10YR5/2	折り返し口縁で、内外面撫で調整。口唇部に直前段反 撚りR{R・R}が施されている。
P-36 ~38	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	胴部片		④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥にぶい黄 橙色・灰黄褐色	内外面とも撫で調整。外面に単軸絡条体第1類Rが施 されている。
P-39 ・40	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	胴部片		④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥灰褐色5 YR5/2	内外面とも撫で調整。外面に単軸絡条体第6A類Rが 施されている。
P-41	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	胴部片		④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥褐灰色10	内外面とも撫で調整。外面に無節Rが羽状に施されて いる。
P-42	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	口縁部片		⑤不良 ⑥灰黄褐色 10YR5/2	上半外面に波状文を施し、頸部に左回り簾状文が施さ れる。

公田東 I区1号周溝墓(5)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-43	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	頸部～胴部 上半片		①砂粒を多く含む。 ②不良 ③灰白色10 YR7/1	頸部は緩やかに括れる。内外面撫で調整。頸部には6 条1単位の右回り等間隔止め簾状文が施され、体部には 波状文が施されている。信州系か？。
P-44 ～46	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	頸部片		①砂粒を多く含む。 ②良好 ③にぶい橙 色・にぶい褐色	3点とも内外面撫で調整。頸部に左回り等間隔止め簾状 文が施されている。
P-47	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	頸部～胴部 上半片		①砂粒を多く含む。 ②不良 ③にぶい黄 橙色10YR7/4	内外面撫で調整。頸部に左回り等間隔止め簾状文が施され、 直下に振幅の大きい波状文が施されている。
P-48	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	胴部片		①砂粒を多く含む。 ②不良 ③にぶい褐 色7.5YR6/3	内外面撫で調整。振幅の大きい波状文が施されている。
P-49	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	頸部片		①砂粒を多く含む。 ②良好 ③にぶい黄 橙色10YR7/4	内外面撫で調整。簾状文？が3段施されている。
P-50 ・51	弥生土器 甕か壺	公田東I区 1号周溝墓 盛土下	胴部片		①砂粒を多く含む。 ②不良 ③にぶい黄 橙色・灰黄色	器面やや摩滅。集合沈線により円弧文が施されている。

公田東 I区2号周溝墓

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 壺	南辺周溝	完形	器高16.0 口径13.4 体部最大径16.3 底径8.6 孔径5.5	①砂粒を多く含む。 ②不良 ③赤色10R 4/6	口縁部は大きく外反し、頸部は強く括れる。体部はや や下半に最大径をもちやや偏球をなす。底部は突出す る平底で焼成後に穿孔されている。口縁部外面縦位の 磨き、内面斜位の磨き。体部外面縦位と斜位の磨き、 内面斜位の刷毛撫で輪積み痕を明瞭に残す。口縁部内 外面と体部外面が赤彩されている。
P-2	土師器 壺	西辺周溝	口縁部～胴 部上半片	残存高7.6 口径(14.0)	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③橙色5YR 6/6	口縁部は外反して開き、頸部は強く括れる。体部は強 く膨らむと思われる。口縁部外面縦位の磨き、内面横 位の磨き。胴部外面斜位の磨き、内面磨滅。
P-3	土師器 手焙り形土器	西辺周溝	上半部欠損	残存高7.4 下 半口縁部径15.0 体部最大径16.7 底径4.0	①砂粒を多く含む。 ②不良 ③浅黄色 2.5Y7/3	体部は扁球形をなし下半接合部で屈曲する。底部は突 出する平底。胴部内外面横撫で、内面に接合痕が残る。

公田池尻 8-3区8号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 台付甕	覆土下層	台部残存	残存高4.3 台袖部径8.2	①砂粒を含む。 ②良好 ③橙色5YR 6/8	台部は内湾して開き、台袖部は外方へ強く屈曲して開 く。台部外面横撫で、内面横撫で。台袖部横撫で。
P-2	土師器 高坏	覆土下層	脚袖部欠損	残存高8.5 口径(14.0)	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③外面にぶ い黄橙色10YR7/3	坏部口縁部は外傾して開き、坏部中位に鈍く突出する 稜を持つ。坏底部は丸く深い。脚部は外湾して開く。 坏部内面粗い磨き、黒色処理。坏部口縁部外面横撫で。 坏底部外面横撫で後粗い磨き。脚部外面縦位の磨き、 内面撫で。

公田池尻 8-2区10号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 台付甕	覆土下層	台部残存	残存高4.8 台袖部径8.6	①砂粒を含む。②良 好 ③橙色2.5YR6/8	台部は外湾して開き、台袖部は外方へ強く屈曲して開 く。台部外面横撫で、内面横撫で。台袖部横撫で。

公田東 II区1号河道(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 小型鉢	覆土	口縁部～体 部上半片	残存高4.2 口径10.8	①砂粒を多く含む。 ②不良 ③灰白色 2.5YR8/2	口縁部はやや内反して開く。体部への移行はなだらか であるが内面に稜を持つ。体部はわずかに膨らむ。器 面摩滅。

公田東 II区1号河道(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他	
P-2	土師器 甕	覆土	口縁部～体 部上半片	残存高4.8 口径(13.4)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎橙色7.5 YR7/6	口縁部はやや長く外傾して開く。頸部は「く」の字に屈曲。器面摩滅。胴部内面指頭圧痕。	
P-3	土師器 S字口縁台付 甕	覆土	台部片	残存高6.3 台裾部径8.7	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎灰黄色 2.5YR7/2	台部は直線的に「ハ」の字に開く。台裾部内面折り返し。器面摩滅。	
番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)		木取り	特徴	登録 番号
W-1	角材	48	42.3*×1.9×1.3		割材	断面は台形から方形を呈し、一定しない。表面の調整も粗く製品ではないであろう。	48
W-2	板材	53	52.9*×5.6×1.0		おい杵	遺存状態が悪く、表面の調整は不明である。厚さも一定しておらず、原材の可能性がある。	53
W-3	未製品	233	53*×4.2×4.1		割材	割材を棒状に加工したものである。測図した箇所断面形は7角形であるが、各場所での刃の長さは一定ではない。未製品であろう。	233
W-4	角材	95	67.0×4.6×2.8		割材	一方の木口は斜めに切断し、他方は焼失する。断面形はややみだれた方形である。	95
W-5	板材	69	70.0*×6.4*×0.5		杵目	遺存状態が悪く、実測時には接合できなかったが、出土状態では現存長70.0cmであった。周囲はすべて欠損しているが、薄い均質な板材である。	69
W-6	杭	138	83.3*×2.2×2.2		丸木	直径2.2cmの細い丸材を枝打ちし、根側を粗く尖らせる。	138
W-7	用途不明	163	41.3*×4.8×3.1		割材	割材の表面を調整し、ほぼ断面長方形に仕上げている。1面のみ非常に丁寧に表面調整を行っている。欠損部分に向かうにしたがって、しだいに薄くなる。	163
W-8	板材	92	50.8*×7.6×1.6		杵目	薄く分割した未調整の材である。原材であろう	92
W-9	杭	212	43.2*×6.2×4.2		丸木	先端から15cm程から削り初めている。枝払いはやや雑である。	212
W-10	又鋏?	200	31.0*×13.2+1.0~0.7		杵目	遺存が非常に悪く、表面も荒れている。調査時の出土状態から推定して又鋏と考えられる。	200①
W-11	用途不明	27	20.4*×3.4+×1.0		おい杵	全体形状は不明であるが、一方の側面に2箇所小さい抉りを施している。一方の側面と木口は欠損する。	27
W-12	板材	6	25.3*×4.4+×0.7		杵目	一方の側面と両木口を欠損する。表面の調整は行われている。	6
W-13	又鋏?	91	26.4*×4.4×1.0		杵目	断面形状が薄い蒲鉾形を呈すること、全体形状から考えて又鋏の刃部の一つである可能性がある。	91
W-14	分割材	166	14.8×1.6×1.2		割材	ミカン割りした状態の細い割材。遺存状態は不良である。	166
W-15	分割材	71	32.9*×3.6×3.1		割材	断面3角形を呈する割材小片である。製品の一部ではないであろう。	71
W-16	角材	223	35.5*×2.3×1.2		割材	表面の調整はなく粗い。原材であろう。	223
W-17	用途不明	119	34.4*×3.4+×1.7		割材	表面は丁寧に調整され滑らかである。製品の一部であろう。長方形のほぞ穴状の部分は欠損である。	119
W-18	農具?	214	15.9*×3.9+×1.3		杵目	着柄鋏・鋏もしくは又鋏の一部と推測される。着柄部につながると推定される部分は、断面蒲鉾状を呈する。	214
W-19	又鋏	12	50.4×3.2~14×0.7~0.9		杵目	遺存状態が悪く、本来の厚さは不明である。着柄部は変形している。着柄部の形状から二股鋏であろう。	12
W-20	又鋏	198	52.0*×19.8×1.7~0.4		杵目	全体に遺存状態が悪いいため、刃部は取り上げ不可能であった。着柄部は半円形に近く、図の裏面は平滑に仕上げる。肩部は張らず、直線的である。	198

公田東 II区1号河道(3)

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ (cm)	木取り	特徴	登録番号
W-21	板材	124	36.8*×8.0×1.6	柾目	一方の木口を斜めに切断する。図の表側は平滑に仕上げている。全体にやや遺存状態は悪い。	124
W-22	木っ端	73	5.7*×5.7×1.6	割材	木口的一端を欠損する。他方は斜めに切断し、表面の調整も認められない。原材から必要部分を取った後の木っ端であろう。	73
W-23	板材	45	31.9*×12.9×0.5	柾目	厚さ0.5cmと薄い、遺存が悪いため本来はもう少し厚い可能性がある。表面の調整は行われている。	45
W-24	用途不明	117	21.6*×11.1×3.8	割材	柾目状に整えた割材の角材であるが、表面が調整されているうえ、1面は特に平滑に仕上げている。残存する木口は斜めに切断する。	117
W-25	着柄鋤・鍬	199	64.1*×14.5*×1.7~0.5	柾目	遺存状態が悪く、着柄部や緊縛部の詳細は不明である。着柄部の断面形は半円形に近い。刃部の一方は中央部の一部が残るのみである。	199
W-26	又鍬	36	35.4*×5.2×0.7	柾目	やや湾曲する側の木口を欠損する。全体の形状から又鍬の刃部の一つと判断される。	36
W-27	杭?	178	23.2*×7.2×6.2*	割材	遺存状態が不良で詳細不明であるが、端部の形状から杭と推定される。	178
W-28	板材	28	17.9*×4.3×0.6	柾目	両木口を欠損するが、幅と厚さから又鍬刃部の可能性も考えられる。	28
W-29	木っ端	204	15.5×6.8×3.5	割材	割材の両木口を斜めに切断する。表面の調整は行われず木っ端であろう。	204
W-30	木っ端	109	8.8×4.4×1.0	柾目	柾目板の両木口を斜めに切断する。中央のくぼみは当初のものか否か不明である。不要部分を削り取った木っ端であろう。	109
W-31	木っ端	88	4.9×4.8×2.0	割材	割材の周辺を斜めに切った小型品である。必要部分を取った後の木っ端であろう。	88
W-32	直柄鋤	29	32.6*×14.4*×3.0	柾目	刃部、柄部共に割り材から削り出す。刃部、柄部共に先端を欠損するため形状は不明である。	29
W-33	杭	211	29.6*×6.2×4.2	丸木	遺存状態が非常に悪いが、先端の形状がからうじて判明する。	211
W-34	杭	70	83.0*×13.6×4.8	おい柾	68と共に河道に打ち込まれた状態で出土した杭である。遺存状態が良く、調整痕が明瞭に観察できる。ほぼ中央にぼぞ穴があり、構築材の転用であることがわかる。頭部は朽ちている。	70
W-35	杭	68	73.2*×11.6×4.2~4.7	割材	割材の一端を尖らせて杭とする。河道に打ち込まれた状態で出土したため、表面の状態は良好である。頭部は当時の地表に出ていたためか、朽ちている。	68

公田東 遺構外(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	I区VI層	1/2 残存	残存高4.0 口径13.0	◎砂粒を含む。◎良好 ◎にぶい橙色 2.5YR6/4	口縁部は短く外傾して開く。底体部は丸くやや深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面刷毛撫で後篋削り、内面横撫で後粗い放射状研磨。
P-2	土師器 壺	I区VI層	口縁部~体部 中位残存	残存高19.7 口径12.6 体部最大径23.8	◎砂粒を多く含む。◎良好 ◎浅黄色 2.5Y7/4	口縁部は外反して開き、頸部は強く括れる。体部は中位に最大径をもち強く膨らむ。口縁部外面刷毛撫で後一部横撫で、内面横撫で後斜位の磨き。体部外面刷毛撫で後斜位の磨き、内面斜位の刷毛撫で一部に輪積み痕を残す。
P-1	土師器 坏	II区EK-222	口縁部~底体部 小片	残存高4.5 口径(12.8)	◎砂粒を含む。◎良好 ◎明赤褐色 5 YR5/8	口縁部は短く外傾して開き端部は玉縁状となる。底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面横撫で後放射状研磨。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	材質	特徴・その他
M-1	耳環	公田東I区 1号周溝墓 墳丘上面	一部表面剥落	3.3×2.8 24g	銅地金張り	径0.8cmで挾状に曲げており、2.5mmの切れ目をもつ。

公田東 遺構外 (2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	土師器 壺	IV区VI層	口縁部～体 部片	残存高10.0 口径(8.0)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④明黄褐色 10YR7/6	口縁部は内湾して立ち上がり、頸部は強く括れる。体 部上半は強く膨らむ。口縁部～体部外面丁寧な磨き、 内面横位と縦位の撫で。
P-2	須恵器 蓋	V区GL- 307 IV～ V層	ほぼ完形	器高4.5 口径12.4	④砂粒を含む。 ④ 硬質 ④灰白色	天井部は高く、稜部はわずかに突出する。口縁部はわ ずかに斜め下方に開く。轆轤成形。天井部外面篋削り。
P-3	須恵器 坏	V区GN- 308	1/3残存	残存高3.6 口径(10.6) 稜径(13.3)	④砂粒を多く含む。 ④硬質 ④灰色N5/ 0	口縁部は内傾し、稜部は強く突出する。底体部は丸く 浅い。轆轤成形。
P-7	土師器 甕	V区GO- 311	口縁部～体 部下半残存	残存高26.7 口径21.6 体部最大径17.8	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④明赤褐色 5 YR5/8	口縁部は外反して大きく開き、頸部はなだらかに「く」 の字に屈曲する。体部はわずかに膨らみをもつ長甕。 口縁部内外面横撫で。体部外面斜位の篋削り、内面横 位と斜位の篋撫で、一部に輪積み痕を残す。
P-11	土師器 パレス壺	V区GK- 303	体部片		④砂粒を多く含む。 ④不良 ④にぶい褐 色7.5YR5/4	外面に波状文と直線文を施す。内面撫で。器面やや摩 滅。
P-12	土師器 パレス壺	V区6号溝	体部片		④砂粒を含む。 ④ 良好 ④橙色7.5YR 6/6	外面は刷毛撫で後磨き、波状文・直線文・列点文が施 され赤彩されている。内面撫で。
P-2	土師器 坏	V区ピット 11	1/3残存	器高3.5 口径(11.3)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④橙色5YR 6/8	口縁部は短く外傾して開き、稜部はわずかに突出して 屈曲する。底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。 底体部外面篋削り内面撫で。
P-3	土師器 坏	V区ピット 31	1/3残存	器高4.0 口径(12.0)	④砂粒を含む。 ④ 良好 ④橙色5YR6 /6	口縁部は短くほぼ直立し、稜部は強く突出して屈曲す る。底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部 外面篋削り、内面撫で。
P-4	土師器 甕	V区ピット 31	口縁部～体 部上半片	残存高10.5 口径(20.5)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④赤褐色5 YR4/6	口縁部は強く外傾して開き、頸部は「く」の字に屈曲す る。口縁部内外面横撫で。体部外面斜位の篋削り、内 面横位の篋撫で。
P-5	土師器 甕	V区ピット 31	口縁部～体 部上半残存	残存高20.0 口径19.3 体部最大径25.4	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④明褐色	口縁部は外返して開き、頸部は「く」の字にやや緩やか に屈曲する。体部は強く膨らむ。口縁部内外面横撫で。 体部外面斜位の篋削り、内面横位の篋撫で。

公田池尻 遺構外 (1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 鉢	2区	一部欠損	器高5.4 口径15.1	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④明赤褐色 2.5YR5/6	口縁部はやや内反して開く。底部は浅い丸底。口縁部 ～底部外面撫で調整後縦位の磨き、内面斜位の磨き。
P-2	土師器 坏	2区	1/4残存	残存高4.7 口径(10.2)	④砂粒を含む。 ④ 良好 ④橙色2.5YR 6/8	口縁部は外反し中位に小段を持つ。稜部は鈍く突出し て屈曲し、底体部はやや深い。口縁部内外面横撫で。 底体部外面篋削り、内面撫で。
P-3	土師器 坏	2区	2/3残存	器高3.1 口径10.1	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④橙色5YR 6/6	口縁部は短く内傾し、底体部は丸く浅い。口縁部内外 面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-4	土師器 坏	2区	完形	器高3.6 口径10.4	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④明赤褐色 2.5YR5/8	口縁部は短く内傾し、底体部は丸く浅い。口縁部内外 面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-5	土師器 坏	2区	2/3残存	器高3.7 口径13.0	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④にぶい橙 色7.5YR6/4	口縁部は直立し、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横 撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-6	須恵器 坏	2区	一部欠損	器高5.0 口径11.5	④砂粒・小礫を含む。 ④軟質 ④灰色 10YR6/1	口縁部は短く内反し、稜部は強く突出して屈曲する。 底体部は丸く深い。轆轤成形。底体部下半外面回転篋 削り。
P-8	土師器 甕	2区	口縁部～体 部上半残存	残存高11.0 口径(17.0)	④砂粒を含む。 ④ 良好 ④にぶい橙色 7.5YR6/4	口縁部は外反し、端部内面に小段が1条巡る。頸部は 「く」の字に屈曲し体部は膨らむ。口縁部内外面横撫で 体部外面横位と斜位の篋削り、内面横位の篋撫で。

公田池尻 遺構外(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-9	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	口縁部～体 部上半片	残存高2.7 口径(16.2)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 橙色10YR7/2	口縁部は斜めに屈曲し、第2段は外反し端部内面に2 条の細い沈線が巡る。口縁部内外面横撫で。頸部外面 沈線による頸部調整、内面撫で。体部外面斜刷毛目、 内面撫で。
P-10	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	口縁部～体 部上半片	残存高6.5 口径(14.2)	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎明褐色 7.5YR7/1	口縁部は斜めに屈曲し、第2段は外反し端部はやや肥 厚し、内面に沈線が1条巡る。口縁部内外面横撫で。 頸部内面撫で。体部外面斜刷毛目、内面横撫で。
P-11	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	1/2残存台 部下端欠損	残存高26.5 口径15.4 体部最大径24.7	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎灰褐色5 YR6/2	口縁部は斜めに屈曲し、第2段は外反し端部内面に1 条の沈線が巡る。体部は上半に最大径をもちやや肩部 が張る。台部は「ハ」の字に開く。口縁部内外面横撫で。 頸部内面撫で。体部外面羽状刷毛目、内面縦位の撫で。 台部外面不連続刷毛目。
P-12	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	1/3残存	器高24.4 口径(13.0) 体部最大径17.9 台部径(10.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色7.5 YR4/4	口縁部は緩やかに斜めに屈曲し、第2段は外反する。 体部は上半に最大径をもちやや肩部が張る。台部は 「ハ」字に開く。口縁部内外面横撫で。頸部内面撫で。 体部外面乱れた羽状刷毛目、内面下半刷毛目、上半撫 下半に接合痕が残る。台部内外面撫で。
P-13	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	体部下半～ 台部残存	残存高14.9 台部径9.2	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 橙色10YR6/4	体部はやや膨らみ、台部は「ハ」の字に開く。体部外面 斜刷毛目、内面縦位と横位の撫で。台基部外面寛削り、 内面縦位と横位の撫で、下端部内面折り返し。
P-14	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	体部下端～ 台部残存	残存高8.4 台部径11.1	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色7.5YR7/4	台部は「ハ」の字に開く。胴部下端外面斜刷毛目。台部 外面不連続刷毛目、内面撫で、下端部内面折り返し。
P-15	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	台部残存	残存高7.5 台部径10.0	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色	台部は「ハ」の字に開く。台部外面不連続刷毛目、内面 撫で、下端部内面折り返し。体部との接合痕が台部上 面に残る。
P-16	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	台部残存	残存高6.0 台部径8.6	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色	台部は「ハ」の字に開く。台部外面不連続刷毛目、内面 撫で、下端部内面折り返し。体部との接合痕が台部上 面に残る。
P-1	土師器 高坏	2区3坑 覆土	1/2残存	器高8.2 坏部径12.2 脚部径8.0	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい黄 橙色10YR7/4	坏部はやや内湾して開き、脚部は外湾して斜め下方に 開く。坏部口縁部内外面横撫で。坏底部内外面撫で。 脚部外面刷毛目撫で後縦位の撫で、内面横位の撫で。
P-2	土師器 S字状口縁台 付甕	2区3坑 覆土	台部下端欠 損	残存高23.7 口径13.7 体部最大径20.8	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい橙 色7.5YR7/3	口縁部は斜めに屈曲し、第2段は外反する。胴部は上 半に最大径を持ち外湾する。台部はハの字に開く。口 縁部内外面横撫で。頸部外面調整のための沈線が1条 巡り、内面撫で。胴部外面羽状刷毛目、内面撫で。台 部外面不連続刷毛目。
P-1	須恵器 はそう	8-2区I O-497	口縁部小片		◎密 ◎硬質 ◎内 外面暗灰色N3/0 断面灰色N5/0	初期須恵器のはその破片で、中位に沈線が1条巡り 上下に断面三角形の鋭い稜を持つ。轆轤成形。内面自 然釉付着。
P-1	土師器 甕	4区倒木痕	2/3残存	器高22.7 口径15.5 体部最大径19.7 底径5.7	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎明褐色 7.5YR5/6	口縁部は外反し、頸部はなだらかに屈曲する。体部は 中位に最大径をもつ。底部はやや突出した平底。口縁 部内外面横撫で。体部外面縦位と斜位の撫で、内面横 位の撫で。
P-1	土師器 器台	8-3区I R-510	脚基部～脚 部上半片	残存高6.2	◎砂粒を含む。 ◎ 良好 ◎にぶい橙色 7.5YR6/4	脚基部中央は貫通し、脚部は直線的に斜め下方に開く。 孔は3孔、径1.1cm。脚部内外面とも斜刷毛後縦位や 斜位の磨き。
P-2	土師器 S字状口縁台 付甕	8-3区I R-510	口縁部～体 部上半片	残存高7.5 口径(13.6)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色7.5YR7/4	口縁部は鈍く屈曲し、第2段はわずかに外反する。口 縁部～頸部内外面横撫で。体部外面上半は縦位の寛撫 で、下半は斜位の寛削り。内面は横撫で。
P-1	土師器 S字状口縁台 付甕	8-3区I S-511	口縁部片	残存高7.0 口径(22.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎淡黄色 2.5Y8/3	口縁部第2段が長く外傾して開き、端部は凹線状とな っている。頸部外面は調整のための凹線が1条巡る。 口縁部内外面横撫で。
P-2	土師器 壺	8-3区I S-511	口縁部上半 片	残存高6.4 口径22.8	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色5YR6/4	口縁部はやや外傾して立ち上がり、上半はやや外反す る。端部内面は折り返し状に肥厚する。外面に3本1 単位の棒状浮文が貼付されている。外面刷毛撫で後斜 位の磨き。内面横位と斜位の粗い磨き。

公田池尻 遺構外(3)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	8-3区表土	1/4 残存	残存高4.5 口径(13.0)	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色5YR 6/8	口縁部は外傾して開き、稜部は突出して屈曲する。底 体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面 篋削り、内面撫で。
P-2	土師器 高坏	8-3区表土	坏部上半欠 損	残存高5.5 脚裾部径9.2	④砂粒を含む。 ⑤良好 ⑥橙色5YR 6/8	坏部内面は黒色を呈し、脚柱部短くやや内湾し、脚 裾部は短く外方へ開く。坏部外面篋削り内面撫で。脚 柱部外面縦位の撫で。脚裾部内外面横撫で。
P-1	土師器 坏	8-3区70 号ピット内	1/2残存	器高5.6 口径(16.2)	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥明赤褐色 2.5YR5/6	口縁部はわずかに外傾して開き、稜部は鋭く突出し 屈曲する。底体部は丸くやや深い。口縁部内外面横撫 で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-2	土師器 甗	8-3区70 号ピット	体部下半～ 底部残存	残存高14.6 底径9.4	④砂粒・小礫を含む。 ⑤良好 ⑥橙色5YR 6/6	体部はわずかに膨らむ長胴。底部単孔。胴部外面斜 位の篋削り後一部縦位の篋撫で、内面横位の篋撫で 一部輪積み痕が残る。
P-1	土師器 高坏	8-3区13 9ピット	一部欠損	器高9.7 口径13.2 脚裾部径10.5	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色5YR 6/6	坏部口縁部は外反し、中に鈍く突出する稜を持ち 屈曲する。坏底部は丸く浅い。脚柱部は短く外湾し、 脚裾部は短く外方へ開く。坏部口縁部内外面横撫で。 坏底部外面篋削り後一部篋撫で。内面横撫で。脚 柱部外面縦位の篋撫で。脚裾部内外面横撫で。
P-1	土師器 坏	8-3区I T-512	2/3残存	器高3.7 口径13.4	④砂粒を多く含む。 ⑥不良 ⑦にぶい 褐色7.5YR5/4	口縁部はやや内反し、稜部はやや突出して屈曲する。 底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部 外面篋削り、内面撫で。
P-2	土師器 甗	8-3区I T-512	一部欠損	器高26.6 口径(21.4) 底径8.6	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥明赤褐色 2.5YR3/4	口縁部は外反し、体部は直線的な長胴。底部単孔。 口縁部内外面横撫で。体部内外面縦位の篋削り、 内面横位の篋撫で。
P-3	土師器 甗	8-3区I T-512	底部欠損	残存高21.7 口径(17.2) 体部最大径 (16.3)	④砂粒・小礫を含む。 ⑤良好 ⑦にぶい 赤褐色5YR4/4	口縁部は外反し、体部はわずかに膨らみをもつ長 胴。口縁部内外面横撫で。体部外面縦位の篋削り、 内面器面摩滅。
P-1	土師器 甗	8区IO- 505	体部下半～ 底部片	残存高14.1 底径8.0	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑦にぶい 黄褐色	体部はわずかに膨らみをもつ長胴。底部単孔。体 部外面縦位の篋削り、下端部横位の篋削り。内面 横位の篋撫で。
P-4	土師器 転用甗	9区表土	体部中位～ 底部残存	残存高25.1 底径8.1	④砂粒・小礫を含む。 ⑤良好 ⑦にぶい 黄褐色10YR7/3	長胴甗の底部を打ち欠き甗として転用。体部 外面縦位の篋削り、輪積み痕が明瞭に残る。体部 内面縦位の篋撫で。
P-5	土師器 壺	9区表土	口縁部片		④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥灰色7.5 Y4/1	口縁部は外傾して開き、端部は内面に大きく折 り返され上面は平面をなす。外面に断面三角形の 細い棒状浮文が間隔をおいて付されている。口 縁部内外面斜位の刷毛撫で。
P-8	土師器 甗	9区表土	口縁部～体 部下端1/2 残存	残存高31.5 口径(19.3) 体部最大径18.0	④砂粒・小礫を含む。 ⑥不良 ⑦灰褐色 7.5YR6/2	口縁部は強く外反する。体部は長胴で下半部に 最大径を持つ下膨れ状となる。口縁部内外面横 撫で。輪積み痕が明瞭に残る。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	管玉	3区34号溝 周辺	完存	長さ3.4 径0.7 孔径0.2 重さ4	珪質頁岩	浅緑色をなす中型の管玉で、丁寧な研磨成形。 両面穿孔。
S-1	管玉	8区表土	完存	長さ2.0 径0.5 孔径0.2 重さ1	蛇紋岩	黒色を帯びる細身の管玉で丁寧な研磨成形。 表面に細かい研磨痕が部分的に残る。両面穿孔。
S-2	管玉	8区表土	完存	長さ2.3 径0.5 孔径0.2 重さ1	蛇紋岩	黒色を帯びる細身の管玉で丁寧な研磨成形。 表面に細かい研磨痕が部分的に残る。両面穿孔。
S-1	紡錘車	9区表土	完存	径4.4 厚さ1.7 孔径0.8 重さ47	蛇紋岩	断面形は厚みのある台形をなし、下面径に 比べ上面径が小さい。表裏面には粗い研磨痕 が部分的に残り、側面は削痕が明瞭に残る。 片面穿孔。
S-2	勾玉	9区表土	完存	長さ2.3 幅1.1 厚さ0.6 重さ3	滑石	淡黄緑色を帯びる小型の勾玉で、表裏面は 研磨痕が磨れるが側面は粗い研磨痕が残る。 孔径0.3cmで片面穿孔。
S-3	白玉	9区表土	一部欠損	長さ0.6 径0.9 孔径0.2 重さ1	滑石	円筒形をなす小型の白玉で粗い研磨成形。 片面穿孔。

表 8 奈良・平安時代出土遺物観察表

公田東 II区1号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	東壁中央部 床面	1/2残存	器高3.7 口径13.6 底径(7.2)	④砂粒を多く含む。 ⑤硬質 ⑥灰色7.5 Y6/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま開く。 轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-2	須恵器 坏	北壁中央部 覆土	1/3残存	器高3.7 口径(12.0) 底径(6.5)	④砂粒を含む。 ⑤ 硬質 ⑥灰白色N7/ 0	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外傾して開く。 轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-3	酸化焰焼成 坏	カマド内	1/3残存	器高3.6 口径(13.0) 底径(8.0)	④砂粒・小礫を含む。 ⑤軟質 ⑥にぶい焼 成5YR7/4	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。 轆轤成形。器面磨滅。
P-4	土師器 坏	北壁中央部 床面	2/3残存	器高3.6 口径12.2	④砂粒を含む。 ⑤ 良好 ⑥にぶい橙色 7.5YR7/4	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。 底部平底。器面やや磨滅。口縁部～体部内外面横 撫で。底部外面篋削り。
P-5	土師器 坏	東壁中央部 覆土	1/2残存	器高3.2 口径11.2	④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥にぶい褐 色7.5YR5/3	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はやや内反する。 底部は平底状となる。口縁部内外面横撫で。底部外面 篋削り、内面撫で。
P-6	土師器 坏	南東隅床面	2/3残存	器高3.2 口径12.1	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色5YR 6/6	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はやや内反する。 底部はやや平底状となる。口縁部内外面横撫で。底体 部外面篋削り、内面撫で。
P-7	土師器 坏	中央部床面	1/3残存	残存高4.0 口径(13.6)	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥にぶい褐 色7.5YR6/3	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外傾して開く。 口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。

公田東 II区2号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	覆土	1/3残存	残存高3.6 口径(12.2)	④砂粒を含む。 ⑤ 良好 ⑥にぶい褐色 7.5YR6/3	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部はやや外傾して開く。 口縁部～体部内外面横撫で。底部外面篋削り。
P-2	土師器 坏	覆土	1/3残存	残存高5.2 口径(15.3)	④砂粒を含む。 ⑤ 良好 ⑥橙色5YR6 /6	体部は外傾して立ち上がり、口縁部は直立きみとなる。 底部はやや平底状。口縁部～体部内外面横撫で。底部 外面篋削り、内面撫で。

公田東 IV区1号住居(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	北壁中央部 床面	完形	器高3.5 口径12.8	④砂粒を含む。 ⑤ 不良 ⑥灰黄色2.5 Y7/2	口縁部は外傾して開き稜部の屈曲は緩やかで、底体部 は丸く浅い。器面磨滅。
P-2	土師器 坏	北西隅床面	2/3残存	器高4.2 口径13.0	④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥灰黄色 2.5YR7/2	口縁部は外傾して開き稜部の屈曲は緩やかで、底体部 は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、 内面撫で。
P-3	土師器 坏	北西隅床面	1/3残存	器高3.3 口径(14.0)	④砂粒を含む。 ⑤ 良好 ⑥にぶい橙色 7.5YR7/3	口縁部は短く外傾して開き稜部の屈曲は緩やかで、底 体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋 削り、内面撫で。
P-4	土師器 坏	北西隅床面	1/3残存	残存高3.6 口径(14.8)	④砂粒を含む。 ⑤ 良好 ⑥橙色7.5YR 6/6	口縁部は短く外傾して開き稜部の屈曲は緩やかで、底 体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋 削り、内面撫で。
P-5	土師器 坏	中央部覆土	ほぼ完形	器高3.9 口径13.1	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色5YR 6/6	口縁部は短くやや内傾し稜部の屈曲は緩やかで、底体 部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削 り、内面撫で。
P-6	土師器 坏	北壁中央部 覆土	ほぼ完形	器高3.5 口径12.2	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥にぶい褐 色7.5YR6/3	口縁部はやや短く外傾して開き、稜部はわずかに突出 する。底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体 部外面篋削り、内面撫で。
P-7	土師器 坏	北東隅覆土	1/2残存	器高4.1 口径13.2	④砂粒を含む。 ⑤ 不良 ⑥にぶい黄橙 色10YR7/3	口縁部はわずかに外反して開き、端部は玉縁状となる。 稜部は緩やかに屈曲し、底体部は丸く浅い。口縁部内 外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。



公田東 IV区1号住居(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-8	土師器 坏	カマド内一 東壁中央部 覆土	1/2 残存	器高4.4 口径14.2	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色2.5 YR6/6	口縁部はやや外反して開き稜部の屈曲は緩やかで、底 体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面 笕削り、内面撫で。
P-9	土師器 坏	カマド内一 東壁中央部 覆土	完形	器高4.4 口径13.6	④砂粒・小礫を含む。 ⑤良好 ⑥にぶい橙 色7.5YR7/4	口縁部はわずかに外傾して開き、端部直下が凹線状と なる。稜部はやや緩やかに屈曲し、底体部は丸く浅い。 口縁部外面横撫で。底体部外面笕削り、内面横撫で放 射状研磨。
P-10	土師器 坏	北西隅床面	1/2残存	器高4.8 口径(14.0)	④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥浅黄色 2.5YR7/3	口縁部は外傾して開き、稜部は大きく突出して屈曲す る。底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部 外面笕削り、内面撫で。
P-11	土師器 坏	北西隅床面	1/2残存	器高4.8 口径(14.2)	④砂粒・小礫を含む。 ⑤良好 ⑥にぶい橙 色7.5YR6/4	口縁部は外傾して開き、稜部はやや強く屈曲する。底 体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で、底体部外面 笕削り、内面撫で。
P-12	土師器 小型甕	北西隅床面	口縁部～体 部1/3残存	残存高13.0 口径(18.0) 体部最大径15.6	④砂粒・小礫を含む。 ⑤良好 ⑥にぶい赤 褐色5 YR5/4	口縁部は外反し、端部は玉縁状となる。体部はわずかに 膨らむ。口縁部内外面横撫で。体部外面笕削り、内 面横撫で。体部下半火を受け器面剥落。
P-13	土師器 甕	カマド内一 中央部床面 -北壁中央 部覆土	ほぼ完形	器高33.5 口径20.1 体部最大径18.0 底径5.6	④砂粒・小礫を多く 含む。⑤良好 ⑥ 明赤褐色2.5YR5/6	口縁部は緩やかに外反して開く。体部はわずかに膨ら みをもつ長胴。底部は小さい平底。口縁部内外面横撫 で。体部外面縦位の笕削り、内面横撫で。
P-14	土師器 甕	北西隅床面 -北西隅覆 土	ほぼ完形	器高34.4 口径20.0 体部最大径18.2 底径5.4	④砂粒・小礫を多く 含む。⑤良好 ⑥ 橙色2.5Y6/6	口縁部は緩やかに外反して開く。体部はわずかに膨ら みをもつ長胴。底部は小さい平底。口縁部内外面横撫 で。体部上半外面縦位の笕削り下半外面横位の笕削り、 内面横撫で。
P-15	土師器 甕	北西隅床面 -北壁中央 部床面	ほぼ完形	器高35.0 口径20.4 体部最大径19.6 底径6.4	④砂粒・小礫を多く 含む。⑤良好 ⑥ 橙色2.5YR6/6	口縁部は緩やかに外反して開く。体部はわずかに膨ら みをもつ長胴。底部は小さい平底。口縁部内外面横撫 で。体部上半外面縦位の笕削り下半外面横位の笕削り、 内面横撫で。
P-16	土師器 甕	北西隅床面 -北壁中央 部床面	ほぼ完形	器高35.8 口径20.2 体部最大径18.3 底径5.8	④砂粒・小礫を多く 含む。⑤良好 ⑥ 明赤褐色5 YR5/6	口縁部は緩やかに外反して開く。体部はわずかに膨ら みをもつ長胴。底部は小さい平底。口縁部内外面横撫 で。体部上半外面縦位の笕削り下半外面横位の笕削り、 内面横撫で。
P-17	土師器 甕	北西隅床面	2/3残存	器高38.5 口径20.1 体部最大径20.2 底径(6.6)	④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥淡黄色 2.5Y8/3	口縁部は強く外反して開く。体部は緩やかな膨らみをも つ長胴。底部は小さい平底。口縁部内外面横撫で。 体部外面斜位の笕削り、内面斜位の笕撫で。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	薦編石	東壁中央部 覆土	完存	長さ14.9 幅6.8 厚さ3.7 重さ594g	石英閃緑岩	長楕円形の河原石を使用。両端部や側縁部に打痕があ り、裏表面ともやや磨れている。
S-2	薦編石	北東隅床面	完存	長さ14.9 幅6.5 厚さ5.3 重さ940g	粗粒輝石安山岩	長楕円形の河原石を使用。両端部に打痕がある。
S-3	白玉	カマド内覆 土	完存	径1.2 厚さ0.5 孔径0.2 重さ1g	滑石	円筒状をなしやや厚みがある。やや粗い研磨成形。片 面穿孔。
S-4	白玉	カマド脇覆 土	一部欠損	径1.1 厚さ0.8 孔径0.2 重さ1g	滑石	円筒状をなし厚みがある。粗い研磨成形。片面穿孔。
S-5	白玉	カマド脇覆 土	一部欠損	径1.1 厚さ0.5 孔径0.2 重さ1g	滑石	円筒状をなしやや薄い。粗い研磨成形。片面穿孔。
S-6	白玉	カマド脇床 面	一部欠損	径1.7 厚さ0.6 孔径0.2 重さ2g	滑石	側縁部は多角形をなし薄い。割り面を残す粗い研磨成 形。片面穿孔。
S-7	白玉	カマド脇床 面	完存	径1.1 厚さ0.7 孔径0.2 重さ1g	滑石	円筒状をなし厚みがある。やや丁寧な研磨成形。片面 穿孔。

公田東 IV区1号住居(3)

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-8	白玉	カマド脇床面	完存	径1.3 厚さ0.8 孔径0.2 重さ1g	滑石	断面形がやや台形をなし厚みがある。粗い研磨成形。片面穿孔。
S-9	白玉	カマド脇床面	一部欠損	径1.2 厚さ0.7 孔径0.2 重さ1g	滑石	断面形がやや台形をなしやや薄い。粗い研磨成形。片面穿孔。
S-10	白玉	カマド脇覆土	一部欠損	径1.1 厚さ0.8 孔径0.2 重さ1g	滑石	円筒形をなしやや薄い。粗い研磨成形。片面穿孔。

公田東 IV区2号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 甕	カマド内一 南壁中央部 覆土	口縁部～体 部上半片	残存高7.5 口径(20.4)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ⑤にぶい橙 色5 YR6/4	口縁部は「コ」の字状をなし上半は外傾する。体部は緩やかな膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面横方向の笥削り、内面横撫で。
P-2	土師器 甕	南東隅床面	口縁部～体 部上半片	残存高9.1 口径19.0	④砂粒を多く含む。 ④良好 ⑤橙色5YR 6/6	口縁部は「コ」の字状をなし上半は外傾する。体部はやや膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で、外面中位に1条の輪積み痕がみえる。体部外面横方向の笥削り、内面横方向の笥撫で。
P-3	平瓦	カマド内	破片	厚さ1.7	④白色鈹物粒を多く 含む。④硬質 ⑤ 灰色7.5Y6/1	表面布目痕、裏面格子目叩き。

公田東 IV区3号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	カマド内	ほぼ完形	器高3.6 口径6.9	④砂粒を多く含む。 ④良好 ⑤にぶい橙 色7.5YR7/4	口縁部は外傾して開き、底体部は平底。口縁部内外面横撫で、底体部外面多方向の笥削り、内面撫で。
P-2	土師器 坏	貯蔵穴内	1/3残存	残存高3.5 口径(12.2)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ⑤にぶい橙 色7.5YR7/3	口縁部は外傾して開き、端部は玉縁状をなす。底体部は平底。口縁部内外面横撫で、底体部外面笥削り内面撫で。
P-3	須恵器 坏	貯蔵穴内	ほぼ完形	器高3.2 口径12.8 底径7.2	④砂粒を多く含む。 ④硬質 ⑤灰白色N 8/0	体部はわずかに内湾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾する。外面轆轤目明瞭。底部右回転糸切り無調整。
P-4	須恵器 坏	西壁中央部 床面	ほぼ完形	器高3.5 口径13.1 底径6.8	④砂粒・小礫を多く 含む。④軟質 ⑤ 灰色10Y6/1	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-5	須恵器 坏	西壁中央部 覆土	3/4残存	器高3.2 口径13.4 底径7.2	④砂粒を多く含む。 ④軟質 ⑤灰色7.5 Y6/1	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-6	須恵器	貯蔵穴内	1/3残存	器高6.2 口径(14.0) 底径7.0	④砂粒を含む。④ 硬質 ⑤灰色N6/0	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はやや外反する。轆轤成形。底部右回転糸切後付高台。高台は「ハ」の字に開く。
P-7	須恵器 蓋	中央部床面	1/4残存	器高4.0 口径(17.2) 抓み径2.7	④砂粒を多く含む。 ④軟質 ⑤灰白色5 Y7/1	轆轤成形。ボタン状抓みで中央部がわずかに突起。天井部は平坦で口縁部は内湾して開き、端部はわずかに垂下する。器面磨減。
P-8	土師器 甕	中央部覆土	口縁部～体 部上半片	残存高6.2 口径(16.8)	④砂粒を含む。④ 良好 ⑤にぶい橙 色5 YR6/4	口縁部は「コ」の字状をなし上半は外傾する。口縁部内外面横撫で。体部外面横方向の笥削り。
P-9	土師器 甕	南壁中央部 床面	口縁部～体 部上半片	残存高7.9 口径(20.6)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ⑤にぶい褐 色7.5YR6/3	口縁部は「コ」の字状をなし上半は外傾する。胴部はやや膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。胴部外面横方向の笥削り、内面横撫で。

公田東 IV区4号住居(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	2/3残存	器高4.2 口径13.8 底径6.0	④砂粒を含む。④ 軟質 ⑤灰黄色2.5 Y7/2	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾する。内外面轆轤目明瞭。底部は突出し右回転糸切り無調整。

公田東 IV区4号住居(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	土師器 甕	覆土	口縁部～体 部上半片	残存高8.7 口径(18.4)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④橙色5YR 6/8	口縁部はやや崩れた「コ」の字状をなし上半は外反する。体部はやや膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面篋削り、内面横撫で。
P-3	土師器 甕	覆土	口縁部～体 部上半片	残存高6.5 口径(20.0)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④橙色2.5 YR6/6	口縁部はやや崩れた「コ」の字状をなし上半は内反ぎみに開く。中に1条の輪積み痕が走る。口縁部内外面横撫で。体部外面横方向の篋削り、内面横撫で。

公田東 IV区5B号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	北東隅覆土	完形	器高3.8 口径12.2	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④橙色5YR 6/8	口縁部は短く内傾し、底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面多方向の篋削り、内面横撫で。

公田東 IV区7号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	覆土	口縁部一部 欠損	器高3.3 口径12.6	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④橙色5YR 6/8	口縁部はやや内湾ぎみに立ち上がり、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面横撫で。
P-2	土師器 甕	覆土	口縁部～体 部上半片	残存高13.2 口径(23.3)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④橙色5YR 6/6	口縁部は外傾して開き頸部は「く」の字状となる。胴部は膨らみがない長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面篋削り、内面横撫で。

公田東 V区2号住居

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	薦編石	覆土	完存	長さ10.3 幅5.3 厚さ2.3 重さ243g	変質安山岩	扁平で長楕円形の河原石を使用。両端部や両側縁部に細かい打痕がある。
S-2	薦編石	カマド内覆土	完存	長さ12.7 幅6.3 厚さ4.1 重さ483g	溶結凝灰岩	長楕円形の河原石を使用。両端部に集中した打痕がある。

公田東 V区4号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	カマド内	完形	器高4.8 口径11.3	④砂粒を含む。④不良 ④橙色5YR 7/6	口縁部は短く内傾。底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-2	土師器 坏	カマド内	完形	器高3.6 口径11.6	④砂粒を含む。④良好 ④橙色7.5YR 6/8	口縁部は短く内傾。底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-3	土師器 坏	覆土	2/3残存	器高4.5 口径14.4	④砂粒を含む。④良好 ④橙色5YR 6/8	口縁部は内反し、底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-4	土師器 甕	カマド内	口縁部～胴 部上半片	残存高16.5 口径23.0 胴部最大径17.5	④砂粒を多く含む。 ④不良 ④浅黄色 2.5YR7/3	口縁部は強く外反して開く。体部は長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面斜位の篋削り、内面横位と斜位の篋撫で。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	薦編石	覆土	完存	長さ13.8 幅7.7 厚さ4.0 重さ611g	変質安山岩	扁平で楕円形をなす河原石を使用。裏面が磨れている。
S-2	薦編石	覆土	完存	長さ13.6 幅8.5 厚さ3.2 重さ565g	粗粒輝石安山岩	扁平で楕円形をなす河原石を使用。全面が良く磨れている。

公田東 V区6号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 高台付椀 (墨書土器)	貯蔵穴内	1/2残存	器高5.6 口径14.8 底径7.0	④砂粒を含む。④軟質 ④黄灰色2.5 Y6/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はやや外反し肥厚する。轆轤成形。底部右回転糸切り周縁部撫で調整付高台。内面に「九九」の2文字が墨書されている。

公田東 V区9号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	カマド脇	2/3 残存	器高5.8 口径17.6	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色5YR 6/6	大型の坏で口縁部は短く内傾し、底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-2	土師器 小型甕	カマド内	2/3 残存	器高16.6 口径14.5 体部最大径19.9 底径9.0	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥にぶい橙 色5 YR6/4	口縁部は外反して開き、頸部は緩やかに括れる。体部は緩やかに膨らみ、底部は平底。口縁部内外面横撫で。胴部外面縦位と斜位の篋削り、内面横撫で。
P-3	土師器 甕	北東隅床面	2/3 残存	器高21.8 口径17.0 体部最大径19.8 底径7.5	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色7.5 YR6/6	口縁部は外反して開き、頸部は緩やかに括れる。体部は膨らみ、底部は平底。口縁部内外面横撫で。体部外面横位と斜位の篋削り、内面横撫で。

公田池尻 3区2号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	北壁中央部 床面	口縁部～底 体部小片	残存高4.1 口径(12.2)	④砂粒を含む。 ⑤ 良好 ⑥にぶい橙 色7.5YR7/4	口縁部は外傾して開き、稜部はわずかに突出し緩やかに屈曲、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-2	土師器 坏	覆土	口縁部～底 体部小片	残存高4.1 口径(16.1)	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色5YR 7/6	口縁部は短く内傾し、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-3	土師器 壺	中央部床面	口縁部～体 部上半残存	残存高6.6 口径10.5	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色5YR 7/6	口縁部はやや内反し、頸部は段を持って屈曲する。口縁部内外面横撫で。体部外面横位の篋削り、内面横位の篋撫で。
P-4	土師器 甕	中央部床面	底部欠損	残存高15.9 口径13.1 体部最大径14.8	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥にぶい橙 色5 YR6/4	口縁部は外反し、頸部は小段をもち緩やかに屈曲、体部はやや膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面横位と斜位の篋削り、内面横位の篋撫で。

公田池尻 3区5号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	南東隅覆土	口縁部～底 体部小片	残存高3.4 口径(12.5)	④砂粒を含む。 ⑤ 良好 ⑥橙色5 YR 6/6	口縁部はわずかに内傾し、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-2	土師器 坏	カマド前床 面	口縁部～底 体部小片	残存高3.7 口径(12.0)	④砂粒を多く含む。 ⑥不良 ⑥にぶい橙 色7.5YR6/4	口縁部はやや外反し、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-3	土師器 甕	カマド前床 面	口縁部～体 部上半片	残存高14.0 口径(17.1)	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥にぶい橙 色7.5YR7/4	口縁部は強く外反し、頸部は緩やかに括れ、体部はわずかに膨らむ長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面斜位の篋削り、内面横位の篋撫で、一部に輪積み痕を残す。
P-4	土師器 甕	カマド内	口縁部～体 部上半片	残存高10.8 口径21.7	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色5YR 7/6	口縁部は強く外反し、体部は直線的に下る長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面篋削り。器面磨滅。
P-5	土師器 甕	北東隅床面	底部欠損	残存高32.3 口径23.6 体部最大径17.4	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色5YR 6/6	口縁部は強く外反し、体部は直線的に下る長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面縦位と斜位の篋削り、内面横位の篋撫で。

公田池尻 3区7号住居(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	須恵器 坏	北壁中央部 覆土	2/3 残存	器高3.9 口径13.6 底径10.0	④砂粒を多く含む。 ⑥硬質 ⑥灰色N6/ 0	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾して開く。底部平底。轆轤成形。底部外面回転篋削り後周縁部撫で調整。
P-3	土師器 坏	覆土	口縁部～底 部小片	器高2.7 口径(11.8) 底径(8.0)	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥明赤褐色 5 YR5/6	口縁部は外傾して開き、端部はやや内反する。底部平底。口縁部内外面横撫で。底部外面篋削り内面撫で。混入したものと思われる。
P-4	土師器 坏	覆土	口縁部～底 体部小片	残存高3.2 口径(13.2)	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥にぶい橙 色7.5YR7/4	口縁部は短くわずかに内傾し、底体部は丸くやや深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。

公田池尻 3区7号住居(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-5	土師器 坏	覆土	1/4 残存	残存高4.1 口径(12.6)	⑤砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑤橙色5YR 6/6	口縁部は内反し、端部はやや玉縁状となる。底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-6	土師器 大型坏	北西隅覆土	口縁部～底 体部片	残存高5.5 口径(25.6)	⑤砂粒を含む。⑤ 良好 ⑤橙色5YR 6/8	口縁部は直立し、端部はやや外反する。底体部は丸くやや深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-7	土師器 大型坏	覆土	口縁部～底 体部片	残存高5.1 口径(20.0)	⑤砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑤橙色2.5 YR6/6	口縁部は外反して開き、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-8	土師器 鉢	北壁中央部 覆土	口縁部～体 部片	残存高10.1 口径(28.4)	⑤砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑤にぶい橙 色7.5YR7/4	口縁部はやや外反し、体部はわずかに膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面縦位と斜位の篋削り、内面横位の篋撫で。
P-9	土師器 甕	南西隅覆土	口縁部～体 部上半片	残存高9.4 口径(22.0)	⑤砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑤橙色2.5 YR6/8	口縁部は外反して開き、体部は膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面斜位の篋削り、内面横位の篋撫で。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	薦編石	中央部覆土	完存	長さ11.5 幅5.0 厚さ4.3 重さ400g	ひん岩	長楕円形の河原石を使用。両端部に打痕がある。
S-2	薦編石	北西隅覆土	完存	長さ14.7 幅6.4 厚さ5.7 重さ750g	溶結凝灰岩	長楕円形をなす断面形が三角形の河原石を使用。

公田池尻 4区11号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	カマド内	ほぼ完形	器高2.9 口径11.0	⑤砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑤明赤褐色 5YR5/6	口縁部は短く内傾し、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-2	土師器 坏	カマド内	2/3残存	器高4.1 口径12.5	⑤砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑤にぶい橙 色7.5YR6/4	口縁部は短く内傾し、底体部は丸くやや深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-3	土師器 坏	カマド内	ほぼ完形	器高4.2 口径13.0	⑤砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑤にぶい橙 色5YR7/4	口縁部は短く内反し、底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-4	土師器 甕	カマド内	口縁部～体 部下半残存	残存高17.6 口径11.6 体部最大径17.5	⑤砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑤にぶい黄 色2.5Y6/3	口縁部は短く外反し、頸部は緩やかに屈曲する。体部は膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面器面等減下半部斜位の篋削り、内面斜位の篋撫で。
P-5	土師器 甕	カマド内	口縁部～体 部上半残存	残存高16.4 口径26.5 体部最大径22.2	⑤砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑤にぶい橙 色5YR6/4	口縁部は強く外反し、頸部は「く」の字に屈曲する。体部は直線的な長胴。口縁部内外面横撫で、外面に輪積み痕がある。体部外面斜位の篋削り、内面縦位の撫でと横位の篋撫で。
P-6	土師器 甕	覆土	一部欠損	器高34.0 口径(22.7) 体部最大径19.2 底径5.2	⑤砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑤にぶい橙 色7.5YR6/4	口縁部は強く外反し、頸部は緩やかに「く」の字に屈曲する。体部はわずかに膨らみをもつ長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面斜位の篋削り、内面横位の篋撫で、下半部に接合痕がある。
P-7	土師器 甕	覆土	口縁部～体 部下半残存	残存高32.5 口径22.0 体部最大径18.1	⑤砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑤にぶい橙 色5YR6/4	口縁部は強く外反し、頸部は緩やかに「く」の字に屈曲する。体部はわずかに膨らみをもつ長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面縦位の篋削り、内面横位の篋撫で。
P-8	土師器 甕	カマド内	口縁部～体 部下半残存	残存高31.6 口径23.6 体部最大径20.1	⑤砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑤橙色5YR 6/6	口縁部は強く外反し、端部はやや肥厚する。頸部は緩やかに「く」の字に屈曲する。体部はわずかに膨らみをもつ長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面縦位と斜位の篋削り、内面横位の撫で。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	台石	中央部床面	一部欠損	長さ26.7 幅25.0 厚さ7.9 重さ6480g	粗粒輝石安山岩	扁平で楕円形をなす大型の河原石を使用。表裏面とも非常に良く磨れている。
S-2	台石	掘り方	破片	残存長14.0 幅 12.7 厚さ4.8 重さ1050g	粗粒輝石安山岩	扁平な河原石を使用。表面は皿状に窪み良く磨れている。裏面には敲打痕が3ヶ所みられる。

公田池尻 4区12号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	中央部覆土	ほぼ完形	器高3.2 口径11.8	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④にぶい橙 色5 YR6/4	口縁部は短く直立し、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り内面撫で。
P-2	土師器 鉢	覆土	口縁部～体 部上半小片		④砂粒を多く含む。 ④良好 ④にぶい橙 色5 YR6/4	口縁部は短く外傾し、頸部は「く」の字に屈曲する。体部は膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。胴部外面横位の篋削り、内面横撫で。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	磨石	西壁中央部 覆土	破片	残存長9.3 幅12.1 厚さ4.6 重さ795 g	粗粒輝石安山岩	扁平な河原石を使用。表裏面とも良く磨れている。使用により破損した可能性がある。
S-3	台石	覆土	一部欠損	長さ17.5 幅15.8 厚さ9.5 重さ3180 g	粗粒輝石安山岩	不整隅丸方形の河原石を使用。表面は丸底状に窪み、裏面は平坦となっている。木目の粗い台石である。

公田池尻 8-2区6号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	南東隅覆土	底部片	残存高1.3 底径5.1	④砂粒を多く含む。 ④硬質 ④灰色N4 /0	轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-2	土師器 坏	貯蔵穴内	ほぼ完形	器高3.4 口径11.3 底径8.3	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④にぶい橙 色5 YR6/4	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま開く。底部平底。口縁部～体部内外面横撫で。底部外面篋削り、内面撫で。
P-3	土師器 壺	貯蔵穴内	口縁部～体 部上半片	残存高14.2 口径19.6 体部最大径20.4	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④橙色5YR 6/6	口縁部は「コ」の字状をなし、体部はやや膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で、外面に輪積み痕を残す。頸部～体部外面横位と斜位の篋削り、内面横位の篋撫で。頸部内面に一部輪積み痕を残す。

公田池尻 9-1区1号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	北壁中央部 覆土	1/4残存	器高3.5 口径(13.2) 底径(6.4)	④砂粒を多く含む。 ④硬質 ④灰色N5 /0	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-2	土師器 坏	南東隅床面	1/4残存	器高3.3 口径(12.0) 底径(9.6)	④砂粒を多く含む。 ④不良 ④にぶい橙 色7.5YR7/4	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾する。底部平底。口縁部～体部内外面横撫で。底部外面篋削り内面撫で。

公田池尻 9-1区2号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 高台付椀	南東隅覆土	一部欠損	器高4.9 口径12.9 底径7.3	④砂粒を多く含む。 ④不良 ④灰黄褐色 10YR6/2	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾する。轆轤成形。底部右回転糸切り後付高台。

公田東 II区3号住居(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	1/3残存	器高3.9 口径(11.4) 底径(6.4)	④砂粒を多く含む。 ④硬質 ④灰オリー ブ色7.5YR5/2	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾して開く。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。外面自然釉付着。
P-2	須恵器 坏	覆土	2/3残存	器高4.2 口径12.4 底径5.6	④砂粒を含む。 ④ 軟質 ④灰白色7.5 Y7/1	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外傾して開く。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-3	須恵器 坏	覆土	1/3残存	器高4.4 口径(11.0) 底径(6.0)	④砂粒を含む。 ④ 硬質 ④灰色5 Y6 /1	体部はやや外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾して開く。轆轤成形。底部回転糸切り後周縁部篋調整。
P-4	土師器 坏	覆土	1/2残存	器高2.6 口径12.8	④砂粒を多く含む。 ④不良 ④橙色5YR 6/6	体部～口縁部はわずかに内湾して開く。底部平底。口縁部～体部横撫で。底部外面篋削り、内面撫で。

公田東 II区3号住居(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-5	土師器 坏	覆土	2/3残存	器高2.6 口径12.5	④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥橙色5YR 6/6	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は直立する。底部平底。口縁部～体部内外面横撫で。底部外面篋削り、内面撫で。
P-6	土師器 坏	覆土	ほぼ完形	器高2.7 口径12.0	④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥にぶい黄 橙色10YR7/2	体部～口縁部はほぼ直立する。底部平底。口縁部～体部横撫で。底部外面篋削り、内面撫で。
P-7	土師器 坏	覆土	2/3残存	器高3.3 口径12.0	④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥橙色7.5 YR6/6	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は直立する。底部平底状。口縁部～体部横撫で。底部外面篋削り、内面撫で。
P-8	土師器 坏	覆土	1/3残存	器高3.1 口径(12.4)	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥にぶい橙 色7.5YR7/3	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は直立する。底部平底状。口縁部～体部横撫で。底部外面篋削り、内面撫で。
P-9	土師器 坏	覆土	2/3残存	器高3.3 口径(12.8)	④砂粒を多く含む。 ⑤不良 ⑥橙色7.5 YR7/6	体部はわずかに外傾して立ち上がり、口縁部もそのままわずかに外傾して開く。口縁部～体部内外面横撫で。底部外面篋削り、内面撫で。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	磨石	覆土	完存	長さ12.8 幅8.0 厚さ5.1 重さ734g	粗粒輝石安山岩	楕円形の河原石を使用。表面には敲打による浅い窪みが1個あり、裏面は平坦で良く磨れている。

公田池尻 7区3号井戸(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 転用硯	覆土	破片	径8.5+ 厚さ1.6	④砂粒・小礫を含む。 ⑤硬質 ⑥灰色 N4/0	壺か甕の底部を転用。周縁部は盛り上がり円形に磨られている。内面は平坦で非常に良く磨れている。
P-2	須恵器 高台付椀	覆土	一部欠損	器高4.8 口径13.6 底径6.7	④砂粒・小礫を含む。 ⑤軟質 ⑥灰色 7.5Y6/1	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。轆轤成形。底部右回転糸切り後付高台。
P-3	須恵器 高台付椀	覆土	1/3残存	器高5.3 口径(13.2) 底径6.5	④砂粒を含む。 ⑥ 軟質 ⑥灰白色5Y 7/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はやや外反する。轆轤成形。底部右回転糸切り後付高台。
P-4	須恵器 高台付椀	覆土	1/3残存 高台部剝離	残存高5.0 口径(14.0)	④砂粒を多く含む。 ⑤軟質 ⑥灰白色10 Y7/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はやや外反する。轆轤成形。底部右回転糸切り。
P-5	須恵器 高台付?椀 (墨書土器)	覆土	口縁部片	残存高3.0 口径(12.3)	④砂粒を含む。 ⑥ 硬質 ⑥黒色5Y2 /1	口縁部は外反する。轆轤成形。内面に「奉」が墨書されている。
P-6	須恵器 坏	覆土	体部下半～ 底部片	残存高3.8 底径5.4	④砂粒を多く含む。 ⑤軟質 ⑥灰黄色 2.5Y7/2	体部は直線的に立ち上がる。轆轤成形。底部回転糸切り無調整。
P-8	須恵器 大甕	覆土	口縁部片	残存高16.0 口径(46.0)	④砂粒・小礫を含む。 ⑤硬質 ⑥灰色N6 /0	口縁部は外反し、端部は上下に掴み出されている。ロクロ成形。
P-9	須恵器 高台付椀	覆土	1/2残存	器高5.1 口径(15.0) 底径(6.2)	④砂粒を多く含む。 ⑤軟質 ⑥暗灰色N 3/0	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外反しやや肥厚する。轆轤成形。底部付高台。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	砥石	覆土	ほぼ完形	長さ7.6 幅6.3 厚さ3.5 重さ85g	二ッ岳軽石	楕円形の河原石を使用。表面は敲打による割れがあり太い線状痕が1条走る。裏面は平坦に磨れており太い線状痕が6条走る。側面にも敲打による割れがみられる。
番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-1	用途不明	164	33.4+×1.0～1.3	割材	断面形が楕円形の細い棒である。一方は、しだいに径が細くなる傾向がある。	2
W-2	曲げ物底板	145	直径：15.7×厚さ：0.8	柾目	側板を設置する部分を一段低く削る。側板と底板の固定に使用した木の皮が4箇所に残る。	4

公田池尻 7区3号井戸(2)

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ (cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-3	用途不明	埋土	16.6 <sup>+</sup> ×9.9 <sup>+</sup> ×1.6	板目	板状の用途不明木製品である。端部は丸みを帯びる。端部は斜めに切断している。他端は焼失している。	11
W-4	杭	164	32.7 <sup>+</sup> ×7.0	丸木	やや曲がった幹の一端を粗く尖らす。先端に近い部分で焼失している。	1
W-5	板材	139	69.3 <sup>+</sup> ×22.5×2.3	板目	一方の木口は欠損、他方は焼失する。表面の調整は行われていない。	12

公田池尻 8-2区1号井戸(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	灰釉陶器 耳皿	覆土	口縁部欠損	残存高2.4 底径4.4	⑤密 ⑥硬質 ⑦灰 白色N8/0	耳部は体部中位で内側に折り曲げられている。轆轤成形。付高台。内側に浅緑色の釉が施されている。
P-2	灰釉陶器 皿	覆土	1/4残存	器高2.7 口径(14.2) 底径(6.6)	⑤密 ⑥硬質 ⑦灰 白色5Y7/1	体部は外方へ大きく開き、口縁部は外反し玉縁状となる。轆轤成形。付高台。灰白色の釉が施されている。
P-3	須恵器 転用硯	覆土	破片	残存高2.8 抓み部基部径 (8.0)	⑤砂粒を含む。⑥ 硬質 ⑦灰白色N7 /0	蓋を転用し、天井部内面が非常に良く磨れ、墨が残存している。轆轤成形。外面に淡緑色の自然釉付着。
P-4	須恵器 高台付椀 (墨書土器)	覆土	体部下半～ 底部残存	残存高2.8 底径5.0	⑤砂粒を含む。⑥ 硬質 ⑦灰色7.5Y6 /1	体部は外傾して立ち上がる。轆轤成形。回転糸切り後付高台。体部外面に墨書がある。
P-5	須恵器 高台付椀 (墨書土器)	覆土	底部片	残存高1.7 底径7.2	⑤砂粒を含む。⑥ 硬質 ⑦灰色N5/0	轆轤成形。底部右回転糸切り後付高台。底部内面に「日」? の墨書がある。
P-6	須恵器 坏 (墨書土器)	覆土	体部下半～ 底部残存	残存高2.7 底径5.8	⑤砂粒を含む。⑥ 硬質 ⑦暗灰黄色 2.5Y4/2	体部はやや内湾して立ち上がる。底部右回転糸切り無調整。体部外面に墨痕がある。
P-7	須恵器 高台付椀 (墨書土器)	覆土	高台部欠損	残存高4.3 口径13.6 底径6.8	⑤砂粒を多く含む。 ⑥硬質 ⑦灰白色N 7/0	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。轆轤成形。底部右回転糸切り後付高台。底部内面に不明 墨書がある。
P-8	須恵器 坏	覆土	ほぼ完形	器高4.1 口径12.7 底径5.6	⑤砂粒を多く含む。 ⑥硬質 ⑦灰白色5 Y7/1	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。ロウ 口成形。底部右回転糸切り無調整。
P-9	須恵器 坏	覆土	1/2残存	器高4.5 口径(14.6) 底径6.0	⑤砂粒を多く含む。 ⑥硬質 ⑦灰色N4 /0	体部は内傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾す る。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-10	須恵器 坏	覆土	1/3残存	器高4.0 口径(12.6) 底径5.6	⑤砂粒を多く含む。 ⑥軟質 ⑦灰白色 2.5Y8/1	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。ロウ 口成形。底部右回転糸切り無調整。
P-11	須恵器 高台付椀	覆土	1/2残存	器高5.1 口径(14.8) 底径(7.0)	⑤砂粒を多く含む。 ⑥軟質 ⑦灰色7.5 Y4/1	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外反しやや肥厚 する。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-12	須恵器 高台付椀	覆土	体部下半～ 底部残存	残存高3.2 底径7.8	⑤砂粒・小礫を含む。 ⑥軟質 ⑦にぶい黄 橙色10YR7/3	体部は内湾して立ち上がる。轆轤成形。底部右回転糸 切り後付高台。
P-13	土師器 坏	覆土	1/2残存	器高3.3 口径(12.6) 底径(7.6)	⑤砂粒を多く含む。 ⑥良好 ⑦にぶい橙 色7.5YR6/4	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾し て開く。底部平底。口縁部内外面横撫で。体部外面篋 削り後押圧、内面横撫で。底部外面篋削り内面撫で。
P-14	須恵器 甕	覆土	口縁部片	残存高8.3 口径(47.0)	⑤砂粒を多く含む。 ⑥硬質 ⑦灰色5Y 4/1	口縁部は外傾して開き、端部は上下に丸く掴み出され ている。轆轤成形。
P-15	須恵器 甕	覆土	口縁部片	残存高6.7 口径(40.6)	⑤砂粒・小礫を含む。 ⑥硬質 ⑦暗灰色 N3/0	口縁部は外傾して開き、端部は上下に丸く掴み出され ている。轆轤成形。
P-16	須恵器 甕	覆土	体部下端～ 底部片	残存高7.0 底径(12.0)	⑤砂粒を多く含む。 ⑥硬質 ⑦暗灰色N 3/0	体部下端は外傾して立ち上がる。底部平底。轆轤成形。



公田池尻 8-2区1号井戸(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-17	須恵器 甕	覆土	口縁部～体 部上半片	残存高13.9 口径(27.0)	④砂粒・小礫を含む。 ④硬質 ④灰色N5 /0	口縁部は外反し、端部は上下に丸く掴み出されている。 体部上半は強く膨らむ。轆轤成形。
P-18	土師器 甕	覆土	口縁部～体 部上半片	残存高7.2 口径(18.4)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④黒褐色 7.5YR3/1	口縁部は「コ」の字状をなし、体部はやや膨らみをもつ。 口縁部内外面横撫で。体部外面横位の篋削り、内面横 位の篋撫で。
P-19	土師器 台付甕	覆土	台部残存	残存高4.5 台裾部径8.9	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④にぶい橙 色5 YR6/4	台部は外湾して開き、台裾部は外方へ開く。台部内外 面横撫で。底部斜位の篋撫で。
P-20	土師器 台付甕	覆土	体部下端～ 台部残存	残存高4.7 台裾部径8.8	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④褐灰色10 YR4/1	台部は外湾して開き、台裾部は外方へ開く。体部外面 縦位の篋撫で、内面横撫で。台部内外面横撫で。
P-21	土鍾	覆土	完形	長さ3.6 径2.2 孔径0.4 重さ14g	④砂粒を含む。 ④ 不良 ④にぶい黄色 2.5YR6/3	丸みを帯びた紡錘形をなし、中央部を小孔が貫通する。
P-22	土鍾	覆土	完形	長さ3.3 径1.9 孔径0.4 重さ11g	④砂粒を含む。 ④ 不良 ④灰白色5YR 7/1	丸みを帯びた紡錘形をなし、中央部を小孔が貫通する。
P-23	土鍾	覆土	ほぼ完形	長さ4.1 径1.4 孔径0.3 重さ7g	④砂粒を含む。 ④ 不良 ④灰黄色2.5 Y7/2	細長い紡錘形をなし、中央部を小孔が貫通する。
P-24	土鍾	覆土	完形	長さ4.1 径1.3 孔径0.5 重さ6g	④砂粒を含む。 ④ 不良 ④褐灰色10 YR5/1	細長い紡錘形をなし、中央部を小孔が貫通する。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	紡錘車	覆土	完存	径4.8 厚さ1.5 孔径0.9 重さ54g	蛇紋岩	断面形が台形をなすやや扁平な紡錘車で、全面が研磨 されている。表裏面や側面に多く線刻があり、表裏面 「神」の線刻文字がみられる。
番号	器種	出土位置	寸 法 長さ・幅・厚さ (cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-1	櫛	埋土	6.2*×2.3*×0.9	板目	櫛の背部分の破片である。歯は付け根部分が残 る程度である。漆は認められない。	8
W-2	容器底板	埋土	直径：13.6*×0.6	柁目	約2/3欠損する。木釘は認められず、1枚板で 製作されていたと考えられる。	9

公田池尻 8-2区3号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	覆土	ほぼ完形	器高3.0 口径11.3 底径8.4	④砂粒を多く含む。 ④不良 ④にぶい褐 色2.5YR4/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部は内反する。底部 平底。口縁部内外面横撫で。底部外面篋削り内面撫で。
P-2	須恵器 坏か椀	覆土	口縁部～体 部片	残存高4.8 口径(14.4)	④砂粒を含む。 ④ 不良 ④黒褐色2.5 Y4/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾し て開く。轆轤成形。

公田池尻 9-3区6号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	1/4残存	器高4.3 口径(12.0) 底径(7.0)	④砂粒を多く含む。 ④硬質 ④灰色5 Y 5/1	体部はわずかに内湾して立ち上がり、口縁部は外傾し て開く。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。

公田東 II区5号土坑(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	1/4残存	器高3.8 口径(12.4) 底径(7.6)	④砂粒を含む。 ④ 硬質 ④灰色N6/0	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はやや外反する。 轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-2	土師器 坏	覆土	2/3残存	器高2.7 口径12.2	④砂粒を多く含む。 ④不良 ④にぶい橙 色7.5YR7/3	体部はわずかに内湾して立ち上がり、口縁部もそのま まわずかに内傾して開く。口縁部～体部内外面横撫で。 底体部外面篋削り、内面撫で。

公田東 II区5号土坑(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-3	土師器 甕	覆土	口縁部～体 部上半小片	残存高5.0 口径(20.0)	④砂粒を多く含む。 ⑤良好 ⑥橙色2.5 YR7/6	口縁部は外傾して開き、頸部はなだらかに「く」の字状に屈曲する。口縁部内外面横撫で、外面に輪積み痕が1条残る。胴部外面横位の篋削り、内面横撫で。

公田東 V区10号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	1/4 残存	器高3.5 口径(12.6) 底径(7.0)	④砂粒を含む。⑤ 硬質 ⑥オリーブ灰 色2.5GY6/1	体部はわずかに内湾して立ち上がり、口縁部は外傾して開く。轆轤成形。底部回転篋調整。

公田池尻 7区27号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	体部下半～ 底部片	残存高2.0 底径6.1	④砂粒・小礫を含む。 ⑤軟質 ⑥灰白色 5 Y7/2	体部はやや内湾して立ち上がる。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-2	土錘	覆土	完形	長さ4.4 径1.7 孔径0.2 重さ11g	④砂粒を含む。⑤ 不良 ⑥明赤灰色 2.5YR7/2	紡錘形をなす小型の製品で、中央部を小孔が貫通する。撫で調整痕が残る。
P-3	須恵器 高台付椀	覆土	一部欠損	器高7.0 口径(14.2) 底径7.4	④砂粒を多く含む。 ⑤軟質 ⑥灰褐色 7.5YR6/2	体部は外傾して立ち上がり、口縁部は強く外反する。轆轤成形。底部回転糸切り後付高台。

公田池尻 7区42号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	覆土	1/2 残存	器高3.7 口径(12.3) 底径(10.2)	④砂粒を含む。⑤ 良好 ⑥橙色5 YR 6/6	体部は内湾して立ち上がり、口縁部もそのまま内反ぎみとなる。底部平底。口縁部内外面横撫で。体部外面押圧痕。底部外面篋削り、内面撫で。

櫛島川端 19区13号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	ほぼ完形	器高4.0 口径12.5 底径6.0	④砂粒を含む。⑤ 軟質 ⑥灰白色2.5 Y7/1	体部はわずかに内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。轆轤成形。底部回転糸切り無調整。内面に墨書痕あり。

櫛島川端 2区27号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 皿	覆土	底部片	底径(5.7)	④白色鉍物含む。⑤ 軟質 ⑥橙色2.5YR 6/6	器表摩滅する。底部回転糸切り無調整。酸化炎焼成。
P-2	須恵器 蓋	覆土	1/5 残存	口径(18.1)	④黒色粒含む。⑤普 通 ⑥灰色7.5Y6/1	天井部外面中央回転篋削り。口縁部下方に折り曲げる。端部肥厚する。

櫛島川端 1区33号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 椀	覆土	底部片	底径(6.8)	④白色鉍物少量含む。 ⑤普通 ⑥にぶい黄 橙色10YR6/3	高台欠損。底部右回転糸切り無調整。胎土やや緻密。
P-2	須恵器 壺	覆土	口縁部片	口径17.1	④白色鉍物含む。⑤ やや軟質 ⑥灰白色 2.5Y7/1	頸部外面螺旋状の条線。口縁部上方に引き上げる。

櫛島川端遺構外(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-3	灰釉陶器 高台付椀	1区V層	1/4 残存	器高 5.0 口径 (15.2) 底径 (8.0)	④白色鉍物含む。緻 密。⑤硬質 ⑥黄灰 色2.5Y6/1	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は強く外反する。高台は「く」の字に屈曲。口縁部～体部内外面に浅緑色の釉が施されている。

櫛島川端遺構外(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	灰釉陶器 高台付皿	2区Q-25	2/3 残存	器高 2.3 口径 (13.2) 底径 6.7	㊦緻密。㊦硬質 ㊦褐色7.5YR6/1	体部～口縁部はわずかに内湾して開く。高台は短く垂直に下る。口縁部～体部内外面に浅緑色の釉が施されている。底部内面に重ね焼き痕あり。
P-2	須恵器 高台付椀	2区Q-23 VI層	1/2 残存	器高 5.0 口径 13.0 底径 6.4	㊦白色鈳物含む。 ㊦軟質 ㊦灰白色 5 Y8/2	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。轆轤成形。回転糸切り後付高台。体部内面と底部外面に不明墨書あり。
P-6	平瓦	16区IV層	破片	厚さ 1.7	㊦白色鈳物を多く含む。 ㊦普通 ㊦灰褐色 5 YR5/2	表面布目痕、裏面撫で。
P-5	平瓦	17区V層	破片	厚さ 1.9	㊦白色鈳物含む。 ㊦普通 ㊦にぶい黄 橙色10YR7/3	表面布目痕、裏面撫で。
P-7	平瓦	16区III層	破片	厚さ 1.7	㊦白色鈳物含む。 ㊦普通 ㊦にぶい橙 色7.5YR6/4	表面撫で、裏面布目。
P-6	平瓦	20区VIa層	破片	厚さ 2.5	㊦白色鈳物を多く含む。 ㊦普通 ㊦灰色 7.5YR4/1	表裏面とも撫で調整。表面模骨痕あり。

公田東 II区41号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土下層	ほぼ完形	器高3.5 口径12.4 底径5.9	㊦小礫・砂粒を含む。 ㊦軟質 ㊦灰白色 5 Y7/1	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。ロクロ成形。底部右回転糸切り無調整。
P-2	土師器 坏	覆土下層	1/2 残存	器高2.3 口径 (11.7)	㊦砂粒を含む。㊦ 良好 ㊦橙色7.5YR 6/6	口縁部は外傾して開き、底体部は丸く浅い。底体部外面篋削り。器面摩滅。
P-3	土師器 坏	覆土下層	ほぼ完形	器高3.2 口径12.0	㊦砂粒を含む。㊦ 良好 ㊦にぶい橙色 7.5YR7/3	口縁部はやや外傾して開き、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。

公田東 IV区2号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	ほぼ完形	器高3.8 口径11.6 底径7.6	㊦砂粒を含む。㊦ 硬質 ㊦灰白色7.5 Y7/1	体部は深く外傾して立ち上がり、口縁部もそのまま外傾する。轆轤成形。底部回転篋削り後撫で調整。
P-2	須恵器 坏	覆土下層	2/3 残存	器高3.6 口径 (13.0) 底径7.6	㊦砂粒・小礫を含む。 ㊦硬質 ㊦灰白色 7.5Y7/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部もそのまま外傾する。轆轤成形。底部右回転糸切り、周縁部篋削り調整。
P-3	土師器 坏	覆土下層	1/4 残存	器高2.7 口径 (10.2)	㊦砂粒を含む。㊦ 良好 ㊦橙色5 YR 6/8	口縁部は内反して開き、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。器面摩滅。
P-4	土師器 坏	覆土下層	1/4 残存	器高3.4 口径 (12.2)	㊦砂粒を含む。㊦ 良好 ㊦橙色5 YR 6/6	口縁部は内反して開き、端部は玉縁状となる。稜部は「く」の字に屈曲し、底体部は浅く丸い。口縁部内外面横撫で、底体部外面篋削り、内面横撫で。
P-5	土師器 鉢	覆土	1/3 残存	残存高6.7 口径11.2	㊦砂粒を多く含む。 ㊦良好 ㊦橙色5YR 6/6	口縁部は内反ぎみに直立し、端部は玉縁状となる。稜部はわずかに段を有し、底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で、底体部外面篋削り、内面横撫で。

公田東 V区12号溝(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	口縁部～体部小片	残存高3.5 口径 (13.5)	㊦砂粒を含む。㊦ 軟質 ㊦灰白色5 Y 7/2	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。轆轤成形。
P-2	須恵器 蓋	覆土下層	抓み部～天井部小片	残存高3.7 抓み部径5.0	㊦砂粒を多く含む。 ㊦軟質 ㊦灰色10Y 6/1	抓み部はボタン状をなし、天井部上半は回転篋削り。轆轤成形。

公田東 V区12号溝(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-3	土師器 坏	覆土	ほぼ完形	器高3.1 口径11.2	④砂粒を含む。⑤良好 ⑥橙色7.5YR6/4	口縁部は短くやや外傾して開く。稜部は鈍くやや突出して屈曲する。底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面横撫で。
P-5	土師器 小型甕	覆土	口縁部～胴部小片	残存高6.2 口径8.0	④砂粒を多く含む。⑤良好 ⑥橙色7.5YR6/6	口縁部は短く外反して開く。頸部は小段を有し「く」の字に屈曲。体部は膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面斜位の篋削り、内面横撫で。
P-6	土師器 坏	覆土	2/3 残存	器高3.5 口径11.6	④砂粒を多く含む。⑤良好 ⑥橙色5YR6/8	口縁部は短くやや内傾する。底体部は丸くやや深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面横撫で。

公田東 IV区13号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	覆土	2/3 残存	器高3.1 口径12.4	④砂粒を多く含む。⑤良好 ⑥にぶい赤褐色5YR5/4	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反して開く。底部平底。口縁部内外面横撫で。底体部外面指頭圧痕横撫で。底部外面篋削り。

公田池尻 4区32号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 高坏	覆土	坏底部～脚部上半片	残存高7.5 脚基部径6.3	④砂粒を含む。⑤硬質 ⑥灰色N5Y7/1	坏底部は平坦で斜め外方へ緩やかに立ち上がる。脚基部は垂直に垂下し、中位?で斜め下方へ緩やかに開く。轆轤成形。坏底部外面回転篋削り。

公田池尻 8-2区4号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 長頸壺	覆土	頸部片	残存高7.2 頸部基部径5.8	④砂粒を多く含む。⑤硬質 ⑥灰色N6/0	下半は直立し上半は強く外反する。轆轤成形。

公田池尻 5区7号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 長頸壺	覆土下層	口縁部～体部上半片	残存高14.9 頸部径6.1	④砂粒を多く含む。⑤硬質 ⑥灰白色N7/0	口縁部は欠損するが大きく開くと考えられる。体部上半は強く膨らむ。轆轤成形。

公田東 II区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	須恵器 坏	II区EN-222	1/3 残存	器高3.6 口径(12.1) 底径(5.5)	④砂粒を含む。⑤硬質 ⑥灰色5Y6/1	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部はやや外傾して開く。轆轤成形。底部回転糸切り後周縁部篋調整。
P-3	須恵器 坏	II区ET-223	1/3 残存	器高3.8 口径(12.1) 底径(5.6)	④砂粒を含む。⑤硬質 ⑥灰白色5Y7/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。轆轤成形。底部回転糸切り後周縁部篋調整。
P-4	須恵器 坏	II区ET-220	1/2 残存	器高3.8 口径(12.0) 底径7.4	④砂粒を含む。⑤硬質 ⑥灰色N6/0	体部は外傾して立ち上がり、口縁部もそのまま外傾して開く。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-5	須恵器 蓋	II区表土	1/2 残存	残存高1.9 口径(13.3)	④砂粒を含む。⑤硬質 ⑥灰色N6/0	天井部は浅く、口縁部は斜め下方に小さく組み出されている。組み部欠損。天井部上半回転篋削り。轆轤成形。
P-6	須恵器 蓋	II区FA-232V層	1/3 残存	器高3.7 口径(15.8)	④砂粒・小礫を含む。⑤軟質 ⑥黄灰色2.5Y6/1	天井部はやや高く上半は平面をなす。口縁部は斜め外方へ弱く組み出されている。天井部上半回転篋削り。轆轤成形。

公田東 V区遺構外(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	灰釉陶器 椀	公田東V区表土	口縁部～底部小片	器高4.5 口径(14.5) 底径(7.4)	④白色鉾物粒を含む。⑤硬質 ⑥灰白色N8/0	体部は緩やかに内湾して立ち上がり、口縁部はやや外反する。底部は「く」の字に屈曲する付高台。施釉は口縁部～体部上半。

公田東 V区遺構外(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	土師器 坏	公田東V区 As-B下層	1/2 残存	器高2.9 口径(10.9)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④橙色5YR 6/6	口縁部は短く外傾し、底体部へなだらかに移行する。底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-5	土師器 坏	公田東V区 GN-3112	1/2 残存	器高3.8 口径12.5	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④にぶい黄 橙色10YR6/4	口縁部は短く外傾し、底体部へなだらかに移行する。底体部は丸くやや強い。口縁部内外面横撫で。底体部外面篋削り、内面撫で。
P-6	土師器 盤	公田東V区 GU-313	2/3 残存	器高3.5 口径20.0	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④橙色5YR 6/6	口縁部は外反して外方へ開き、稜部は緩やかに屈曲する。底部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底部外面篋削り、内面撫で。

公田池尻 2区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-7	土師器 壺	2区グリッ ト	口縁部～頸 部1/2 残存	残存高6.4 口径16.2	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④淡黄色 2.5Y8/3	頸部は外傾して立ち上がり、口縁部は外反し端部は上方に抓み出されている。内外面とも横撫で。

公田池尻 4区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	4区古代	1/2 残存	器高3.4 口径(13.0)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④にぶい橙 色7.5YR6/4	体部は外傾して立ち上がり、口縁部は直立する。底部平底。口縁部内外面横撫で。体部外面指頭圧痕。底部外面篋削り、内面撫で。

公田池尻 7区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-8	紡錘車	公田池尻7 区表土	1/2 残存	径(4.4) 厚さ1.2 重さ15+	④砂粒を含む。④ 不良 ④明褐色 7.5YR7/1	偏平な土製紡錘車で表裏面や側面に刺突文が加えられている。孔径1cm。
P-9	土錘	公田池尻7 区表土	完形	長さ4.5 径1.9 孔径0.4 重さ15	④砂粒を含む。④ 不良 ④灰白色2.5 Y8/2	紡錘形をなし中央部を小孔が貫通。器面摩滅。
P-10	土錘	公田池尻7 区表土	完形	長さ4.3 径2.3 孔径0.4 重さ18	④砂粒を含む。④ 良好 ④浅黄褐色10 YR8/3	紡錘形をなし中央部を小孔が貫通。器面摩滅。
P-11	土錘	公田池尻7 区表土	ほぼ完形	長さ3.7 径1.8 孔径0.4 重さ8	④砂粒を含む。④ 良好 ④にぶい黄橙 色10YR6/3	紡錘形をなし中央部を小孔が貫通。器面摩滅。
P-12	須恵器 高台付碗	公田池尻7 区表土	1/4 残存	器高4.9 口径(13.2) 底径(6.4)	④砂粒を多く含む。 ④軟質 ④灰黄色 2.5Y6/2	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。轆轤成形。底部右回転糸切後付高台。
P-13	土師器 坏	公田池尻7 区表土	1/3 残存	器高3.6 口径(11.8) 底径5.2	④砂粒を含む。④ 良好 ④橙色7.5YR 6/6	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま開く。底部平底。口縁部～体部内外面横撫で。底部外面押圧内面撫で。

表9 中世出土遺物観察表

櫛島川端 14区4号溝

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	不詳	埋土	1/2	重さ 1,250	粗粒輝石安山岩	円形の窪みを有する。周囲の立ち上がりは高い。

櫛島川端 17区51号溝(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	口縁片		④普通 ④青灰色	口縁部から外面に自然釉掛かる。口縁部が外方に引き出した後上方に引き上げる。器表鈍い赤褐色。13世紀前半。
P-2	知多系陶器 甕	埋土	口縁片		④普通 ④中心部黄 橙、断面黒灰色	口縁部の引き出しはほとんどなく、小さい「N」字状を呈する。縁帯は窪む。器表は暗赤褐色を呈し、一部に自然釉が掛かる。13世紀中頃。

櫛島川端 17区51号溝 (2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	丸瓦	埋土	1/3		④夾雑物少ない。⑤普通 ⑥暗灰色	胎土、焼成の特徴から近代以降の瓦であろう。混入品。
P-5	中国磁器 青磁碗	埋土	口縁小片		④普通 ⑤青灰色	龍泉窯系青磁。外面片切り彫りによる鎬蓮弁文。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	砥石	埋土	一部欠	長さ12.0 幅3.7	砥沢石	2面を主に使用し、1面は部分的な使用。1面はノミ状工具による調整痕を残す。2片接合。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	元祐通寶	埋土	完形	計測不可能		篆書。M-2と付着し、1/2のみ剥がれる。北宋、1086年初鑄。
M-2	聖宋元寶	埋土	完形	計測不可能		篆書。M-1と付着、拓図下半に逆位で「聖宋」。拓図上半はM-1。北宋、1101年初鑄。
M-3	聖宋元寶	埋土	完形	外径24.2~24.3、内径19.7~19.9		篆書。北宋、1101年初鑄。
M-4	元祐通寶	埋土	完形	外径24.6~24.7、内径19.2~19.4		行書。北宋、1086年初鑄。
M-5	元豐通寶	埋土	完形	外径24.4~24.6、内径19.3~20.0		篆書。北宋、1078年初鑄。

櫛島川端 17区52号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	1/4	口径(31.3)	④白色鈹物含む。⑤普通 ⑥灰色7.5Y6/1	51号溝出土片と接合。2片接合。口縁部は玉縁状をなす。底部外面回転糸切り無調整。口縁部回転横撫で。体部内外面の調整は粗い。体部下位使用による摩滅。

櫛島川端 17区59号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国磁器 青白磁合子?	埋土	体部片		④普通 ⑤灰白色5Y8/2	内面無釉。外面は型押しにより連弁状の文様を施す。器壁は薄く、器高の高い合子の可能性がある。

櫛島川端 17区62号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国磁器 青磁碗	埋土	口縁片		④良好 ⑤灰白色7.5Y8/1	龍泉窯系青磁。外面片切り彫りによる鎬蓮弁文を施す。釉の発色は良い。
P-2	知多陶器 甕	埋土	肩部片		④良好 ⑤青灰色器表黒褐色	外面の一部に自然釉付着。内面紐作り痕明瞭。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	天聖元寶	埋土	1/2	計測不可能		真書。北宋、1023年初鑄。
M-2	紹聖元寶?	埋土	完形	外径23.5~23.7、内径16.5~16.8		行書。北宋、1094年初鑄か。

櫛島川端 17区67号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬戸・美濃陶器 卸皿	埋土	口縁片		④やや不良 ⑤浅黄褐色10YR8/4	口縁部灰釉を施すが、白濁している。古瀬戸後1期。14世紀後半。内面に卸目を施す。
P-2	知多陶器 甕	埋土	口縁片		④普通 ⑤青灰色、器表暗赤褐色	口縁部外方に下がり気味に引き出し、端部を上引き上げる。端部は欠損。
P-3	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片		④白色鈹物含む。⑤軟質 ⑥青灰色、黄橙	口縁部やや内湾し、端部を玉縁状にする。口縁部丁寧な回転横撫で。

櫛島川端 1~17区77号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片		④白色鈹物含む。⑤青灰色	口縁部やや内湾し、端部は玉縁状をなす。体部内面下位は使用により摩滅する。

櫛島川端 1~17区78号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片		④黒色鈹物含む。⑤軟質 ⑥ぶい黄橙色10YR7/2	片口部小片。口縁端部は幅広い玉縁状をなす。外面黄青灰色。内面は使用痕ではないが摩滅する。

櫛島川端 16区98号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	体部小片		㊟良好 ㊟灰白色	外面には自然釉が掛かる。器表暗褐色。

櫛島川端 17区135号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
I-1	鉄鉢	No.1	一部欠損			なかご途中で欠損。

櫛島川端 19区23号溝

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石製品 板碑	埋土	ほぼ完形	長さ43.7幅16.0 厚さ1.9 重さ2,300g	黒色変岩(上場)	右側縁が一部欠損する。

櫛島川端 19区32号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	嘉祐通寶	埋土	1/4欠損	外径23.4、内径18.3	「寶」部分欠損。北宋1056年初鑄。

櫛島川端 19区75号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	皇宋通寶	埋土	完形	外径24.4~24.6、内径20.6~20.4	北宋1038年初鑄。

櫛島川端 19区80号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	紹聖元寶	埋土	完形	外径24.0、内径18.2	北宋1094年初鑄。

櫛島川端 20区3号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	口縁部破片		㊟緻密 ㊟良好 ㊟青灰色	口縁部外反し、端部は上方にやや延びる。口縁部内面と肩部に自然釉付着。器表鈍い赤褐色。
番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-1	杭	埋土	36.9*×直径:2.6	丸木	樹皮の付いた幹の枝を払い、根元側の周囲を削って尖らせる。	94

櫛島川端 20区12号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	底部1/5	底径(9.7)	㊟細砂、礫含む。㊟軟質 ㊟外面黄灰色 2.5Y7/3 内面浅黄色 2.5Y7/3	外面撫で。内面使用により摩滅著しい。底部は切り離さない。

櫛島川端 20区14号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	内耳鍋	埋土	破片		㊟白色鈳物含む。㊟軟質 ㊟灰白色、器表黒灰色	器表厚く、口縁部は短い。内面に耳貼り付け部一部残る。2片接合。

櫛島川端 20区30号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	渥美陶器 甕	埋土	口縁片		㊟普通 ㊟灰色5Y 6/1	口縁部は外反する。肩部内面紐作り痕明瞭に残る。外面は部分的に白濁自然釉が掛かる。

櫛島川端 21区17号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	開元通寶	埋土	1/4欠損	外径25.0、内径21.3	南唐、960年初鑄。

公田東 IV区1号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 火鉢	埋土	口縁片		④白色鈳物・礫含む ⑤普通 ⑥にぶい黄 橙色10YR6/3	外面器表黒灰色。口縁端部は肥厚する。口縁部には乾燥以前に内側から外面に向かって穿孔されている。

公田池尻 3区1号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	肩部片		④細砂・礫含む。⑤普通 ⑥にぶい黄褐色10YR4/3	外面白濁した自然釉が掛かる。内面器表暗褐色。

公田池尻 3区3号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多? 渥美? 陶器 甕	埋土	肩部片		④夾雑物少ない ⑤良好 ⑥灰色7.5Y4/1	外面白濁した自然釉が掛かる。内面器表黒灰色。頸部と肩部の接合痕明瞭に残る。

公田池尻 3区5号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	口縁片		④良好 ⑥灰白色	口縁部内面と肩部外面に自然釉が斑状に付着する。口縁部は外反し、端部上面が凹線状に窪む。器表暗褐色。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石臼	埋土	1/4残存	幅(17.2) 厚さ8.5×10.6 重さ6,840g	粗粒輝石安山岩	下臼。8分画で溝は広い。

公田池尻 4区47号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	渥美陶器 甕	埋土	体部片		④夾雑物少ない ⑤普通 ⑥褐灰色10YR5/1	外面に叩き目あり、内面に自然釉が斑状に付着しており、体部下端付近の破片であろう。焼き台の痕跡が外面凹線状に窪み、やや歪んでいる。53号溝P-1と同一個体であろう。

公田池尻 4区53号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	渥美陶器 甕	埋土	体部片		④夾雑物少ない ⑤普通 ⑥灰色5Y6/1	外面に叩き目あり、内面に自然釉が斑状に付着しており、体部下端付近の破片であろう。焼き台の痕跡が外面凹線状に窪む。47号溝P-1と同一個体であろう。

公田池尻 5区3号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在地土器 鍋	埋土	口縁片		④白色鈳物少量含む ⑤普通 ⑥灰黄褐色10YR6/2	器表黒灰色。口縁部内湾する。近代の鉢形を呈した鍋である。
P-2	内耳鍋?	埋土	口縁片		④黒色鈳物含む ⑤不良 ⑥にぶい橙色	器表摩滅。口縁部はわずかに外反した後に内湾する。

公田池尻 5区5号溝(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国磁器 青磁碗	掘底	1/3	口径(15.2)	④普通 ⑥明オリープ灰色5GY7/1	龍泉窯系青磁。丸みを帯びた体部から、外傾して口縁部に至る。釉は失透性で白濁した箇所が多い。3片接合。1片接合しないが同一個体がある。
P-2	在地土器 皿	掘底	1/3残存	器高2.1 口径(9.0) 底径(6.0)	④金雲母少量含む ⑤普通 ⑥にぶい橙色7.5YR6/4	体部ゆるく外反する。底部左回転糸切り無調整、浅い庄痕残る。
P-3	在地土器 皿	掘底	完形	器高2.0 口径7.5 底径5.0	④金雲母少量含む ⑤普通 ⑥にぶい橙色5YR7/3	体部ゆるく外反する。底部左回転糸切り無調整。



公田池尻 5区5号溝(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	内耳鍋	埋土	口縁片		㊦金雲母含む ㊦普通 ㊦にぶい黄橙色 10YR7/2	器表黒灰色。器壁薄い。口縁部はわずかに内湾する。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石製品 板碑	埋土	1/2	長さ(34.1) 幅 20.8 厚さ2.9 重さ2,330g	雲母石英片岩	下半の欠損部に蓮座が残る。

公田池尻 5区9号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在地土器 皿	埋土	底部～体部	底径6.2	㊦金雲母含む ㊦普通 ㊦浅黄橙色10 YR8/3	底部外面左回転糸切り無調整。体部強く外反する。器表摩滅する。
P-2	内耳鍋	埋土	破片		㊦白色鉱物含む ㊦普通 ㊦灰黄色2.5 Y7/2 断面灰白色 7.5Y6/1	器表厚い。体部下位丸みを帯び、丸底であろう。体部下端篋削り後撫で。

公田池尻 5区11号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬戸・美濃陶器 平碗	埋土	口縁片		㊦良好 ㊦灰白色5 Y7/2	灰釉を施す。釉の発色は良い。釉に細かい貫入入る。外面轆轤目顕著。古瀬戸後I期またはII期。

公田池尻 7区2号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国磁器 青磁皿	埋土	口縁片		㊦不良 ㊦灰黄色 2.5Y6/2	焼成不良により胎土磁化していない。釉には貫入が入り、口縁端部は白濁する。口縁部内面には6条の櫛描文を巡らす。
P-2	在地土器 皿	埋土	底部片	底径(4.4)	㊦鉱物粒含む ㊦普通 ㊦にぶい黄橙色 10YR7/3	底部外面左回転糸切り無調整。胎土・焼成から中世と考えられる。
P-3	内耳鍋	埋土	体部片		㊦雲母片か片岩細片を含む ㊦普通 ㊦灰色7.5Y6/1	体部上位片。器表、割れ口やや摩滅。
P-4	内耳鍋	埋土	体部・底部 小片		㊦白色鉱物含む ㊦普通 ㊦明赤褐色 5YR5/6	器壁やや厚い。底部周縁が窪んでおり、丸底の可能性はある。体部下端篋削り後撫で。
P-5	内耳鍋?	埋土	体部片		㊦白色鉱物含む ㊦軟質 ㊦にぶい褐色 7.5YR5/4	内面丁寧な撫で。外面粗い撫で。内耳鍋の体部片であろう。2片接合。
P-6	軟質陶器 すり鉢	埋土	底部片	底径(10.5)	㊦白色鉱物細粒 ㊦普通 ㊦灰色	底部外面回転糸切り無調整。内面底部周縁から体部下端使用により摩滅する。使用頻度が高く、特に底部と体部の境はすり減って窪んでいる。
P-7	軟質陶器 すり鉢	埋土	底部1/4	底径(10.7)	㊦白色鉱物細粒 ㊦褐色7.5YR6/1	底部右回転糸切り無調整。内面底部周縁から体部下端使用により摩滅する。使用頻度が高く、特に底部と体部の境はすり減って窪んでいる。P-6と同一個体であろう。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石臼	埋土	破片	重さ275g	粗粒輝石安山岩	下臼。
S-2	石臼	埋土	破片	重さ263g	粗粒輝石安山岩	茶臼形の上臼。挽き手穴周囲に沈線を巡らす。
S-3	石臼	埋土		重さ1,765g	粗粒輝石安山岩	茶臼形の下臼。溝は切り直しか。
S-4	石臼	埋土	1/4残存	径30.0厚み10.0 重さ1,171g	粗粒輝石安山岩	下臼。溝の間隔は広い。

公田池尻 7区3号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在地土器 皿	埋土	1/4	器高1.85 口径(7.6) 底径(6.0)	㊦鈳物粒含む ㊦普通 ㊦にぶい黄橙色 10YR7/4	体部下端の器壁厚く、内面の境は緩やかである。底部 外面回転糸切り無調整。口縁部油煙付着。口縁部割れ 口にも油煙付着する。
P-2	土製品 土錘	埋土	完形	長さ3.8 幅1.4 厚さ1.4	㊦鈳物粒含む ㊦普通 ㊦黒色2.5Y2/1	全体に調整が粗い。時期不詳。古い時期の混入品か？

公田池尻 8-2区1号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	瀬戸・美濃陶 器 深皿	埋土	体部小片		㊦良好 ㊦青灰色	内外面やや白濁する灰釉を施す。外面轆轤目立つ。 古瀬戸中期から後期。
P-3	軟質陶器 すり鉢	埋土	体部片	底径(10.0)	㊦金雲母含む ㊦不良 ㊦にぶい橙色5 YR7/4	外面器表凹凸多い。弧状のすり目を施す。体部下位内 面使用により摩滅する。9-1区1号溝出土片と接合。 2片接合。
P-4	知多陶器 甕	埋土	体部片		㊦普通 ㊦にぶい黄 橙色10YR5/3	器壁薄い。外面器表暗褐色。
P-5	軟質陶器 すり鉢	埋土	体部下位片		㊦鈳物細粒含む ㊦軟質 ㊦灰白色5Y 8/1	外面体部下端丁寧な撫で。体部外面雑な撫で。体部内 面下位使用により摩滅するが、下端は摩滅しない。

公田池尻 9-1区1号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	軟質陶器 すり鉢	埋土	底部片	底径(13.0)	㊦白色鈳物多く含む ㊦普通 ㊦青灰色	還元炎焼成。底部外面回転糸切り無調整。体部外面粗 い撫で調整。体部下位使用によりやや摩滅する。
P-3	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片	口径(33.8)	㊦白色鈳物含む ㊦不良 ㊦にぶい黄橙 色10YR7/3	口縁部回転横撫で。外面粗い撫で調整。内面轆轤目 立つ。器表黒灰色。
P-4	中国磁器 青磁碗	埋土	体部下位片		㊦普通 ㊦明緑灰色 7.5GY7/1	龍泉窯系青磁。外面片切り彫りによる鎬連弁文を施 す。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石製品 石臼	埋土	破片	重さ1,621g	粗粒輝石安山岩	下臼。側面に砥石としての再利用痕が認められる。

公田池尻 9-1区2号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	内耳鍋？	埋土	体部下位片		㊦石英・チャート含 む ㊦普通 ㊦橙色 5 YR1/6	外面粗い撫で調整。実測図で体部下端とした箇所の外 面調整は丁寧。酸化炎焼成。

公田池尻 9-1区5号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	底部片	底径(12.2)	㊦白色鈳物含む ㊦普通 ㊦灰色7.5Y5 /1	底部調整や切り離しは不明。体部外面粗い撫で調整。 内面弧状のすり目を入れる。体部下位軽微な使用痕有 り。

櫛島川端 19区2洪水下水田

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬戸・美濃陶 器 卸皿	19区2H層 19区III a層	口縁片		㊦良好 ㊦青灰色	外面器表暗赤褐色。内面は灰釉を施し、発色は良い。 体部下端に卸し目が認められる。古瀬戸後II・III期15 世紀前半から中頃。2片接合。

櫛島川端 19区3洪水下水田

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	皇宋通寶		完形	外径24.0、内径19.4~20.5	北宋。1038年初鑄。

櫛島川端 19区1洪水下水田

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在地位器 皿	覆土	口縁1/2 底部完	器高3.1 口径(11.0) 底径6.4	㊟夾雑物少ない ㊟ やや不良 ㊟灰白色 5Y8/2	外面体部下端と口縁部下の2カ所は、轆轤目が凹線状に幅広く窪む。底部外面回転糸切り無調整であるが、糸の撚りが不明瞭であり、かつ切り離しが雑なため回転方向は不明。調整時の轆轤回転は右であろう。
P-2	軟質陶器 すり鉢	耕作土	口縁片		㊟白色鈹物含む ㊟ 良好 ㊟灰色10Y4 /1	内面から口縁部回転横撫で。体部外面粗い撫で調整。口縁端部内面小さく突出する。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	□□元寶	覆土	1/3	計測不可能		
M-2	聖宋元寶	耕作土	完形	外径23.8、内径18.9	北宋。1101年初鑄。	
M-3	開口通寶	覆土	2/3	計測不可能		
M-4	聖宋元寶	耕作土下	一部欠損	外径23.7、内径19.6~20.3	北宋。1101年初鑄。	

櫛島川端 17区11号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	体部小片		㊟良好 ㊟灰黄色 2.5Y6/2	外面には自然釉が均一に掛かる。内面器表暗赤褐色。

櫛島川端 20区3号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在地位器 皿	埋土	口縁一部 底部完	器高2.1 口径(7.7) 底径5.4	㊟鈹物粒含む ㊟普 通 ㊟灰白色2.5Y 8/1	底部外面左回転糸切り無調整。底部内面中央盛り上がる。口縁部油煙・油多く付着する。口縁部欠損後もしばらく灯明皿として使用されている。

櫛島川端 20区6号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	1/5	底径(11.5)	㊟白色鈹物粒含む ㊟普通 ㊟黄灰色 2.5Y5/1、断面灰白 色2.5Y7/1	底部外面やや摩滅するが、糸切り痕は認められない。外面体部下端丁寧な回転撫で。体部外面は雑な撫で調整。内面は口縁部下位以下は使用により広範囲が摩滅する。

櫛島川端 20区8号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	製作地不詳陶 器 すり鉢	埋土	1/6	口径(28.2)	㊟白色鈹物含む ㊟ 良好 ㊟褐色7.5 YR4/1	口縁部回転横撫で。口縁端部を面取りし、凹線を2条巡らす。体部外面左下がりの指押さえ痕残す。内面下半使用により摩滅する。胎土・焼成などから搬入品と考えられる。
P-2	軟質陶器 すり鉢	埋土	1/6	口径(30.4)	㊟赤色粒「大」含む。 ㊟軟質 ㊟断面橙色、 器表灰褐色7.5YR 5/2	口縁部回転横撫で。口縁端部内側に突出する。体部外面粗い撫で調整で指頭圧痕残す。内面下位使用により摩滅する。
P-3	内耳鍋	埋土	1/5	口径-	灰色N4/	器形に歪みがあり図上の直径は大きすぎる。口縁部は短く器表厚い。体部下端は丸みを帯び、底部は丸底である。外面体部下端篋削り後撫で。体部の調整は内外面共に丁寧である。

櫛島川端 20区9号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	体部片		㊟白色鈹物含む ㊟ 普通 ㊟外面赤灰色 10R5/1、断面橙色 2.5YR6/6	外面雑な撫で調整で指頭圧痕残る。内面使用による摩滅著しく、焼成時の器表残らない。体部と底部の境は大きく窪む。窪みから摺り粉末の先端直径は1~1.5cmと推測される。

櫛島川端 20区12号井戸

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-1	容器底板	埋土	直径：15.5×厚さ：0.8	おい杵	曲物もしくは桶の底板で、1/3程欠損する。	95
W-2	容器底板	埋土	直径：17.4×厚さ：0.6	杵目	曲物もしくは桶の底板で、1/2程欠損する。	96

櫛島川端 20区13号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片		㊦白色鉱物粒含む ㊦良好 ㊦灰色7.5 Y5/1、断面中央に ぶい橙色2.5YR6/4	片口部片。口縁部回転横撫で。外面口縁部下は指押さ え痕が轆轤目状に残る。口縁端部内面断面三角形に突 き出る。還元炎。

櫛島川端 20区17号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片	口径(27.4)	㊦赤色粒含む ㊦普 通 ㊦黒褐色10YR 3/1、断面鈍い橙	口縁部回転横撫で。内面丁寧な回転横撫で。内面下半 使用により摩滅。口縁端部内面の突出する部分も摩滅 する。

櫛島川端 21区2号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	大観通寶	埋土	一部欠損	外径24.2~24.3、内径21.0	北宋、1107年初鑄。

公田池尻 3区3号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国磁器 青磁碗	埋土	底部	底径5.4	㊦普通 ㊦オリーブ 灰色	灰オリーブ色の釉を高台外面まで施す。底部器壁厚い。 高台端部摩滅して平滑となる。底部内面中央擦れによ る傷が認められる。

公田池尻 3区5号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	肩部片		㊦長石、石英含む。 ㊦良好 ㊦頸部断面 灰色、他は灰白色	頸部の外面側に肩部を貼り付ける。外面と頸部内面に 自然釉が掛かる。

公田池尻 4区5号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他	
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片		㊦白色鉱物粒含む ㊦ 普通 ㊦灰色7.5Y 4/1	口縁部回転横撫で。口縁部小さく内湾し、端部は尖り 気味である。体部内面下位使用により摩滅する。	
番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)		木取り	特徴	登録 番号
W-1	木製品 用途不明	埋土	10.4×2.5*×0.7		柾目	断面蒲鉾形を呈し、一方に貫通した穴を開ける。 札状を呈した木製品であるが、用途は不明であ る。	

公田池尻 8-2区4号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 片口鉢	埋土	口縁片		㊦普通 ㊦灰白色 2.5Y7/1	轆轤成形。口縁端部は丸く収める。器表灰の降下によ りやや光沢を有する。

公田池尻 9-1区1号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在土土器 皿	埋土	完形	器高1.95 口径7.15 底径4.9	㊦海綿骨芯微量含む ㊦普通 ㊦橙色	体部上位小さく外反する。口縁端部外面僅かに凹線状 に窪む。底部外面左回転糸切り無調整、圧痕僅かに認 められる。P1~6、6枚重ねで出土。
P-2	在土土器 皿	埋土	完形	器高1.8 口径7.8 底径5.0	㊦片岩、海綿骨芯微 量含む ㊦普通 ㊦ 橙色7.5YR6/6	体部上位小さく外反する。口縁部外面凹線状に窪む。 底部外面左回転糸切り無調整、圧痕明瞭。底部内面指 撫で。P1~6、6枚重ねで出土。
P-3	在土土器 皿	埋土	完形	器高1.85 口径7.4 底径5.1	㊦海綿骨芯僅かに含 む ㊦普通 ㊦明赤 褐色5 YR5/6	体部上位小さく外反する。口縁部外面凹線状に窪む。 底部外面左回転糸切り無調整。底部中央に製作時のひ びが認められる。P1~6、6枚重ねで出土。
P-4	在土土器 皿	埋土	完形	器高3.0 口径11.7×11.3 底径6.9	㊦海綿骨芯僅かに含 む ㊦普通 ㊦橙色 5 YR7/6	体部は直線的に開く。底部外面左回転糸切り無調整。 底部外面僅かに圧痕認められる。P1~6、6枚重ね で出土。口縁部の一部歪む。

公田池尻 9-1区1号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-5	在地土器 皿	埋土	口縁一部欠	器高3.0 口径12.0 底径6.4	㊦海綿骨芯僅かに含む ㊦普通 ㊦橙色 2.5YR7/6	体部は直線的に開く。底部外面左回転糸切り無調整。底部外面僅かに圧痕認められる。P1～6、6枚重ねで出土。
P-6	在地土器 皿	埋土	ほぼ完形	器高3.1 口径11.3 底径6.2	㊦海綿骨芯認められないが1から5と同じ胎土 ㊦普通 ㊦明赤褐色5 YR5/6	体部は直線的に開く。底部外面左回転糸切り無調整。底部外面僅かに圧痕認められる。P1～6、6枚重ねで出土。底部外面に不鮮明な墨書が認められる。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石製品 板碑	埋土	破片	長さ34.0幅28.8 厚さ3.7 重さ6,340g		中位の破片で、上下を欠損。表面の遺存状態は悪いが、裏面の工具痕は明瞭に残る。

櫛島川端 5区20号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	肩部片		㊦良好 ㊦にぶい黄色2.5Y6/3	内面器表暗褐色。外面自然釉均一に掛かる。

櫛島川端 19区22号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁～体部片		㊦白色鈳物含む ㊦普通 ㊦灰色7.5Y5/1	口縁部回転横無で。口縁端部やや平坦で中央が僅かに窪む。端部内面はやや三角形に突出し、その下部は凹線状に窪む。残存部に使用痕が認められない。

櫛島川端 19区25号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	不詳	埋土	完形	外径22.5～22.6、内径計測不可能	

櫛島川端 19区29号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	不詳	埋土	完形	外径26.8～24.8、内径21.2～21.5	
M-2	□□元寶	埋土	完形	外径24.4～24.0、内径20.8～19.5	

櫛島川端 19区36号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	開元通寶	埋土	完形	外径24.5～22.6、内径21.8	紀地銭。唐、845年初鑄。
M-2	洪武通寶	埋土	完形	外径23.2～内径21.3～21.5	明、1368年初鑄。
M-3	祥符通寶	埋土	完形	外径24.5～24.8、内径19.0～19.2	北宋、1009年初鑄。
M-4	□□宋通寶	埋土	1/2	計測不可能	

櫛島川端 19区40号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	□□通寶	埋土	完形	外径25.2～25.4、内径20.9～21.0	表面の遺存悪い。

公田池尻 3区2号土坑

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	砥石	埋土	一方の端部欠損	残存長12.0 幅4.6 厚さ3.8 重さ240g	砥沢石	長方形をなし4側面を使用。4面とも内湾し多くの線状痕が残る。

公田池尻 4区10号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	肩部片		㊦良好 ㊦灰白色5 Y7/1	外面自然釉が掛かるが、釉は白濁する。内面器表は灰色。器壁薄い。

櫛島川端 中世遺構外(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-11	渥美陶器 甕	1~17区グリット	口縁~肩部片		㊟普通 ㊟断面灰色、器表黒色	頸部は短く強く外反する。口縁端部はやや尖り気味で、内面は僅かに窪む。口縁部内面と肩部外面に自然釉が薄く掛かる。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	治平元寶	1~17区グリット	完形	外径23.6~23.3、内径18.4~17.9		北宋、1064年初鑄。
M-2	元豐通寶	1~17区グリット	完形	外径23.7~24.0、内径19.3~19.0		北宋、1078年初鑄。
M-3	洪武通寶	1~17区グリット	完形	外径22.7~22.6、内径17.1~17.3		明、1368年初鑄。背一銭。
M-1	□祐□寶?	17区流路	1/3	計測不可能		
M-2	天聖元寶	17区流路	完形	外径24.2~24.8、内径18.9~20.2		篆書。北宋、1023年初鑄。
I-1	銅製品	18区1層島埋土	完形			銅製品の一部分か。
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-3	軟質陶器 すり鉢	18区III層		底径10.7	㊟海綿骨芯僅かに含む。㊟普通 ㊟外面橙色5 YR6/6、断面灰白色5 Y7/1	底部外面左?回転糸切り無調整。底部内面周縁は使用により器表摩滅する。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
I-1	口金物	18区III層 b-14	一部欠損			鞘の口金物であろう。真鍮製か。
M-1	開元通寶	18区III層	完形	外径25.0~25.0、内径21.5~20.2		唐、616年初鑄。背上月。
M-2	嘉祐通寶	18区III層	完形	外径23.7~23.5、内径20.0		北宋、1056年初鑄。
M-1	皇宋通寶	18区	完形	外径24.3~24.3、内径19.0~18.6		北宋、1038年初鑄。
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	19区15号柱穴	口縁片		㊟白色鉱物含む。海綿骨芯?僅かに含む。㊟良好 ㊟暗灰色	渥美陶器をやや軟質にしたような色調と焼成である。口縁端部内面断面三角形に突出する。
P-1	中国磁器 白磁碗	19区III a層	口縁片		㊟やや不良 ㊟灰白色	口縁端部平坦。端部外面外方に短く延びる。
P-3	渥美陶器 甕	19区III a層	口縁片		㊟普通 ㊟断面灰色 外面器表黒色	口縁部外反する。口縁端部尖り気味となる。
P-4	内耳鍋	19区III a層	口縁片		㊟片岩小片含む。㊟不良 ㊟2.5Y6/2断面にふい黄橙色10YR6/3	耳部小片。器壁薄い。
P-1	瀬戸・美濃陶器 平碗	19区III b層	口縁片		㊟良好 ㊟灰白色	口縁部僅かに内湾し、端部は尖る。外面は轆轤目残る。体部外面下位を除き灰釉を施す。古瀬戸後1期。14世紀後半。
P-2	軟質陶器 すり鉢	19区III b層	口縁片		㊟片岩細片含む。㊟不良 ㊟内外面褐灰色1/6、断面にふい褐色7.5YR	口縁部内面僅かに窪み、外面は内湾する。口縁端部は尖り、玉縁状をなす。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	洪武通寶	19区III a層	完形	外径22.2~22.3、内径18.4~18.6		明、1368年初鑄。
M-2	元豐通寶	19区III a層	完形	外径23.5~24.0、内径19.8~19.9		北宋、1078年初鑄。
M-3	祥符元寶	19区III a層	完形	外径24.5、内径19.4~19.6		北宋、1009年初鑄。
M-4	熙寧元寶	19区III a層	完形	外径23.3~22.8、内径19.0~19.3		北宋、1068年初鑄。
M-1	治平元寶	19区III b層	完形	外径22.9、内径19.7		北宋、1064年初鑄。
M-2	皇□□寶	19区III b層	一部欠損	外径計測不能、内径23.0		
M-3	至道元寶	19区III b層	完形	外径24.0~24.3、内径18.9~19.0		北宋、995年初鑄。
M-4	開元通寶	19区III b層	完形	外径24.3~24.4、内径21.0		唐、621年初鑄。
M-5	不詳	19区III b層	一部欠損	外径24.0、内径計測不能。		

櫛島川端 中世遺構外(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-9	軟質陶器 香炉	20区V層	底部片		④白色鈳物含む。⑤普通 ⑥黄灰色2.5 Y5/1	体部は直線的に開く。底部に低い脚を貼り付ける。脚は本来3本であるが、1本は欠損。
P-10	盤	20区V層	小片		④白色鈳物含む。⑤普通 ⑥青灰色	口縁部左回転横撫で。体部内面横撫で後右下がりの指による撫で。底部周縁は窪み、丸底可能性がある。体部外面黒色。
P-11	内耳鍋	20区V層	口縁～体部片		④白色鈳物含む。⑤良好 ⑥青灰色5 B 6/1	口縁部短い。耳小さく断面丸い。口縁部回転横撫で。体部内外面の撫では丁寧であり、外面に指頭痕は目立たない。体部下端は丸みを帯び丸底と考えられる。体部外面下端篋削り後撫で。
P-12	軟質陶器 すり鉢	20区V層	口縁片		④白色鈳物含む。⑤良好 ⑥外面赤褐色7.5YR5/6、断面明褐色7.5YR	口縁端部内面内側に突き出す。片口部残存。
P-2	龍泉窯系青磁碗	20区ビット36	口縁部片		④普通 ⑤胎土青灰色	口縁部小片。外面篋蓮弁文であるが、片切り出はない。口縁部外面に花卉を表す2条の鋸歯文。
P-3	軟質陶器 すり鉢	20区ビット99 No.1	口縁部1/8	口径29.4	④白色鈳物含む。⑤普通 ⑥外面青灰色断面明褐色	内面から口縁部外面横撫で。体部内面下位使用により磨滅。口縁端部内面内側に小さく突き出す。
P-4	在地土器 皿	20区ビット102	口縁～底部1/6	器高2.7 口径10.9 底径5.8	④赤色粘土粒含む。⑤普通 ⑥にぶい橙色7.5YR7/4	底部外面回転糸切り無調整。板状圧痕僅かに残る。外面轆轤目顕著。
P-7	軟質陶器 すり鉢	20区ビット279 No.1	口縁～体部1/6	口径28.7	④白色鈳物粒多く含む。⑤普通 ⑥褐色4/1	内面から口縁部外面横撫で。体部内面下位使用により磨滅、体部下端磨滅顕著。口縁端部内面内側に小さく突き出す。
P-8	在地土器 皿	20区ビット280	口縁部一部欠	器高2.2 口径7.0 底径4.7	④鈳物粒含む。⑤やや不良 ⑥灰白色7.5YR8/1	底部外面左回転糸切り無調整。底部外面の板状圧痕や内面の撫では認められない。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	熙寧元寶	20区ビットNo.206	完形	外径24.7～24.8、内径20.5～20.8	北宋、1068年初鑄。	
M-2	不詳	20区ビットNo.399	1/8欠損	外径25.5、内径22.7		
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	内耳鍋	20区1 竪穴	口縁部片		④白色鈳物粒含む。⑤普通 ⑥外面灰色5 Y5/1断面オリープ5 Y6/2	内面から口縁部外面回転横撫で。体部外面木口状工具による撫で。器壁厚い。口縁部短い。
P-2	内耳盤	20区1 竪穴	口縁部～底部		④白色鈳物粒多く含む。⑤普通 ⑥外面にぶい黄橙色10YR 6/3、断面浅黄橙色10YR8/4	体部外傾する。口縁部短く外傾する。体部器壁厚い。耳は残存しないが、耳部の窪みが認められる。
P-1	在地土器 皿	20区表土	口縁部一部欠	器高2.9 口径10.7 底径2.9	④灰色鈳物含む。⑤普通 ⑥灰白色7.5 YR8/2	底部外面左回転糸切り無調整。体部やや外湾する。底部外面板状
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	太平通寶	20区	完形	外径24.2～24.3、内径19.6～19.7	北宋、976年初鑄。	
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	瀬戸・美濃陶器 平碗	21区グリット	口縁～体部1/4	口径16.4	④やや緻密 ⑤普通 ⑥淡黄橙	平碗。内面から体部外面に灰釉を施釉。底部内面目跡二カ所残存。器壁やや厚く、口縁部は天目風の形態を呈する。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	天祐通寶	21区グリット	完形	外径24.4～24.5、内径19.5～19.7	北宋、1017年初鑄。	
M-2	天祐通寶	21区グリット	一部欠損	外径23.6～24.2、内径19.8	北宋、1017年初鑄。	

公田東 中世遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	□徳元寶	I区グリット	1/4	計測不可能		
M-2	開元通寶	I区グリット	完形	外径23.3~23.2、内径19.8~18.7		唐、621年初鑄。
M-3	開元通寶	I区グリット		外径24.2、内径20.4~20.6		唐、621年初鑄。
M-4	大観通寶	I区グリット		外径24.0~24.5、内径2.13~21.5		北宋、1107年初鑄。
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国磁器 染付皿	II区グリット As-B 混	底部1/4	底径(5.0)	◎良好 ◎良好 ◎胎土白色	小皿。内外面染め付け。明代。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	雁首銭	II区グリット As-A 混	完形			煙管の雁首を潰し、銭状にしたもの。
M-4	永楽通寶	II区グリット	完形	外径、内径		明、1408年初鑄。
M-5	洪武通寶	II区グリット	一部欠損	外径22.7~23.0、内径19.8~19.5		明、1368初鑄。
M-6	熙寧元寶?	II区グリット	完形	外径23.9、内径19.9~20.0		北宋、1068年初鑄。
M-7	皇宋通寶?	II区グリット	周縁欠損	外径不明、内径19.0~19.2		北宋、1038年初鑄か。
M-8	不詳	II区グリット	1/2	計測不可能		
M-9	永楽通寶	II区グリット	完形	外径24.7、内径20.3~20.7		明、1408年初鑄。
M-10	元豊通寶	II区グリット	完形	外径24.2~24.4、内径18.2~18.5		北宋、1078年初鑄。
M-11	政和通寶	II区グリット	完形	外径23.3~23.5、内径20.0		北宋、1111年初鑄。
M-1	宋通元寶	IV区グリット	完形	外径24.8~24.9、内径19.1		北宋、960年初鑄。

公田池尻 中世遺構外(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	元□□寶	3区	完形	外径23.9~24.0、内径19.0~18.1		加工銭。
M-2	開元通寶	3区	一部欠損	外径21.4、内径18.9		唐、845年初鑄。輪狭い。
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	内耳鍋	4区 Na3	口縁部破片		◎白色鈳物粒含む。 ◎良好 ◎にぶい赤褐色 5 YR5/4	器壁厚い。口縁部短く、内彎しながら外傾する。外面器表黒灰色。
P-2	軟質陶器 すり鉢	4区 Na2	口縁片		◎白色鈳物粒含む。 ◎やや不良 ◎灰色 5 Y6/1	口縁部は玉縁状を呈し、先端は尖る。焼成は還元炎であるが、焼き締まりなく軟らかい。
P-3	尾張陶器 片口鉢	4区 Na1	体部~底部	底径(10.0)	◎鈳物粒含む。 ◎良好 ◎青灰色	体部外面轆轤目顕著。体部外面下端手持ち風へら削り。体部下位から底部(すり鉢として)使用により磨滅する。知多ではなく、瀬戸窯の可能性もある。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	天聖元寶	4区	完形	外径23.0~24.0、内径19.6~19.9		北宋、1023年初鑄。
M-2	治平元寶	4区	完形	外径24.3~24.4、内径17.1~17.6		北宋、1064年初鑄。
M-3	皇宋通寶	4区	完形	外径24.8~25.1、内径19.5~19.8		北宋、1038年初鑄。
M-4	開元通寶	4区	完形	外径24.0~24.1、内径19.4~19.7		唐、845年初鑄。
M-5	熙寧元寶	4区	完形	外径23.8~23.9、内径19.2~19.3		北宋、1068年初鑄。
M-6	開元通寶	4区	完形	外径23.1~23.6、内径19.1~19.3		唐、845年初鑄。背文字か?
M-7	治平元寶	4区	完形	外径24.0~24.1、内径19.0~18.7		北宋、1064年初鑄。
M-8	熙寧元寶	4区	一部欠損	外径23.4、内径18.9		北宋、1068年初鑄。



公田池尻 中世遺構外（2）

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-9	開元通寶	4区	一部欠損	外径24.7、内径20.1		唐、845年初鑄。
M-10	□□通寶	4区	1/3欠損	計測不可能		
M-11	皇宋通寶	4区	2/3	外径25.0、内径19.2		北宋、1038年初鑄。
M-12	□宋通寶	4区	1/3欠損	計測不可能		皇宋通寶か。
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国製 白磁碗	6区表土	口縁片	口径(12.0)	④緻密 ⑤良好 ⑥白色	口縁部外反する。外面の釉に磨れ目立つ。
P-2	龍泉窯系 青磁碗	6区表土	体部片		④緻密 ⑤不良 ⑥青灰色	鎗蓮弁文碗。胎土の磁化は不十分で、釉の発色もやや悪い。
P-3	同安窯系 青磁碗	6区表土	体部片		④緻密 ⑤良好 ⑥灰白色	外面カキ目。内面沈線。
P-4	知多陶器 甕	6区表土	体部片		④白色鉄物含む。⑤普通 ⑥にぶい橙色2.5YR6/4	体部下位片と推定される。内面は使用による磨滅で平滑になる。7区P-5と同一個体か。
P-5	知多陶器 片口鉢	6区表土	体部片		④鉄物粒含む。⑤普通 ⑥灰白色10Y7/1	体部下位片。内面下部に使用による磨滅が認められる。
P-6	在地土器 皿	6区表土	1/4残存	器高1.7 口径(7.0) 底径(3.6)	④鉄物粒含む。⑤普通 ⑥橙色7.5YR6/6	器表磨滅し調整痕不明瞭。口縁端部煤付着。
P-1	軟質陶器 すり鉢	7区表土	体部片		④鉄物粒含む。⑤やや不良 ⑥5 YR8/4	体部上位片。内面すり目あり。器壁は薄く、焼き締まりも全くない。
P-2	軟質陶器 すり鉢	7区表	口縁部破	口径(36.7)	④白色鉄物含む。⑤やや不良 ⑥にぶい赤褐色2.5YR5/4	口縁端部内外面に小さく突出する。口縁部外面は成形痕が明瞭に残る。
P-3	軟質陶器 すり鉢	7区表土	体部下位片		④鉄物含む。⑤普通 ⑥10YR6/1	体部下位外面成形痕明瞭に残る。内面使用による磨滅あり。特に下部は著しいが、下端は磨滅していない。
P-4	軟質陶器 すり鉢	7区表土	底部片	底径(13.2)	④礫含む。⑤やや不良 ⑥にぶい黄褐色10YR7/2	底部外面回転糸切り無調整。内面底部周縁から体部下端使用により著しく磨滅し、ドーナツ状に窪む。底部かた体部外面煤付着。
P-5	知多陶器 甕	7区表土	体部～底部片	底径(17.0)	④白色礫含む。⑤普通 ⑥橙色5 YR6/6	断面鈍い赤褐色。内面使用により磨滅し、平滑となる。6区P-4と同一個体か。
P-6	瀬戸・美濃 陶器 皿	7区表土	口縁～体部片	口径(9.1)	④やや緻密 ⑤普通 ⑥灰白色10YR7/1	口縁端部外反。内外面灰釉。貫入有り。大窯製品。
P-7	龍泉窯系 青磁碗	7区表土	体部片		④緻密 ⑤やや不良 ⑥灰白色10YR7/1	胎土は十分に磁化していない。釉には大きな貫入入る。残存部無文。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石臼		1/8	厚さ6.2～9.7 重さ3,520g	粗粒輝石安山岩	上臼。軸穴は丁寧な加工ではない。
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	龍泉窯系 青磁碗	7区ピット	体部片		④緻密 ⑤普通 ⑥灰白色	内面沈線。外面無文。
P-3	瀬戸・美濃 陶器 入子	8-3区表土	口縁片		④やや緻密 ⑤普通 ⑥浅黄色5 Y7/3	器壁厚く、口縁部は花卉状に波状に作る。灰釉を施す。中世。
P-1	渥美陶器 甕	9区表土	頸部片		④やや緻密 ⑤普通 ⑥黄灰色2.5Y6/1	甕の頸部片であろう。外面自然釉かかる。
P-2	知多陶器 甕	9区表土 トレンチ	体部下位片		④礫含む。⑤良好 ⑥灰白色2.5Y7/1	内面下位自然釉かかる。外面鉄錆色。器壁やや薄い。
P-3	軟質陶器 すり鉢	9区表土	底部片		④鉄物含む。⑤普通 ⑥灰白色。外面青灰色	底部外面回転糸切り無調整。内面使用による磨滅著しく、焼成時の器表が残らない。磨滅により内面平滑。

表10 近世出土遺物観察表

櫛島川端 5区39号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	肥前陶器碗	埋土	1/2	器高7.4 口径11.5 底径5.0	㊟普通 ㊟灰白色	陶胎染付。外面口縁部に如意雲状の文様、体部に簡略化した楼閣山水文を描く。釉に貫入する。
P-2	肥前陶器碗	埋土	口縁部片	口径 (10.2)	㊟普通 ㊟灰白色	陶胎染付。外面口縁部に如意雲状の文様、体部に簡略化した楼閣山水文を描く。釉に貫入する。
P-3	肥前陶器碗	埋土	1/2	底径4.9	㊟普通 ㊟灰白色	陶胎染付。外面楼閣山水文を描く。釉に貫入する。
P-4	肥前陶器碗	埋土	口縁部片	口径 (10.9)	㊟普通 ㊟灰白色	陶胎染付。外面楼閣山水文?を描く。釉に貫入する。
P-5	肥前磁器? 香炉	埋土	口縁1/4 底部完	器高4.8 口径(7.0) 底径3.1	㊟やや不良 ㊟白色	青磁香炉。口縁部から高台脇に青磁釉を施す。釉は白濁し、青磁の発色は一部である。
P-6	肥前磁器 仏飯器	埋土	脚部完 体部1/2	底径3.8	㊟普通 ㊟白色	高台内無釉。脚部は細く杯部は大きい。口縁部外面雨降り文を描く。
P-7	製作地不詳陶器碗	埋土	口縁一部 高台完 底径4.6	器高5.7 口径 (11.2)	㊟普通 ㊟灰白色	高台脇以下を除き灰釉を施す。釉に貫入する。内底に目痕3カ所残る。高台幅広い。
P-8	瀬戸・美濃陶器 練り鉢	埋土	口縁部片	口径 (23.5)	㊟良好 ㊟青灰色	口縁部は内湾し、外方に折り返すように肥厚する。灰釉を施す。
P-9	瀬戸・美濃? 陶器 徳利	埋土	1/2	底径 (7.7)	㊟普通 ㊟灰白色 5 Y8/2	外面体部下端まで灰釉を施す。二次的な被熱著しく内面は黒変し、外面は荒れる。
P-10	在地土器 焙烙	埋土	破片		㊟白色鉄物含む。㊟普通 ㊟浅黄橙色 7.5 YR8/3	外面黒灰色。体部と底部の境は内外面とも丸みを帯びる。
P-11	在地土器 火鉢?	埋土	体部小片		㊟黒色鉄物少量含む。㊟普通 ㊟赤褐色	器表黒灰色。外面型による施文。

櫛島川端 5区43号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	肥前陶器碗	埋土	底部	底径5.2	㊟普通 ㊟青灰色	陶胎染付。外面植物文を描く。釉に貫入する。
P-2	在地土器 鍋	埋土	小片		㊟黒色鉄物少量含む。㊟普通 ㊟灰白色 8/2、器表黒灰色	内面調整丁寧。外面紐作り痕残る。底部から体部下端外面煤付着。

櫛島川端 1~17区110号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在地土器 器種不詳	埋土	底部1/2	底径10.0	㊟白色鉄物含む ㊟普通 ㊟灰黄褐色10 YR5/2、断面黒灰色	外面型押しにより砂目状の文様を付ける。内面轆轤目残る。
P-2	在地土器 焙烙	埋土	破片		㊟白色鉄物少量含む。㊟軟質 ㊟灰白色 2.5 Y8/1	底部外面型作り時の剥離材痕残る。耳1カ所残る。底部中央付近に補修孔1カ所残存。体部外面黒灰色、底部外面灰白色。

櫛島川端 19区9号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	特徴・その他
I-1	煙管	埋土	雁首		頸部の曲がりは少ない。接合部は上面。

櫛島川端 19区44号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	埋土	完形	外径23.2~23.3、内径19.0~19.2	銅1文銭。

櫛島川端 20区8号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	製作地不詳磁器 白磁皿	埋土	口縁1/3欠	器高2.0 口径9.5 底径4.9	◎良好 ◎灰白色N8/	口縁部外反する。底部内面型押しによる沙綾状文を施す。文様部分は線状に窪む。
P-2	肥前磁器 染付碗	埋土	口縁1/2欠	器高5.85 口径(10.5) 底径4.2	◎良好 ◎白色	端反碗。外面に花卉文を描く。口縁部内面に簡略化した雷文帯を、底部内面に寿字を描く。3片接合。
P-3	肥前磁器 染付碗	埋土	口縁一部欠	器高6.0 口径10.5 底径3.9	◎良好 ◎白色	端反碗。外面に花卉文を描く。口縁部内面に雷文帯、底部内面に三友を描く。5片接合。
P-4	瀬戸・美濃磁器 碗	埋土	口縁1/3欠	器高5.6 口径10.2 底径3.6	◎良好 ◎白色	端反碗。外面に不明文様、口縁部内面に直線化した雷文帯、底部内面に簡略化した寿字を描く。9片接合。
P-5	製作地不詳磁器 急須	埋土	完形	器高7.5 口径6.3 底径7.8	◎良好 ◎白色	急須の本体。植物文を主文様とする。取っ手と注ぎ口には瓔珞文を描く。底部外面無軸、型押しによる螺旋状文。外面体部下端12カ所の面取り。2片接合。
P-6	益子陶器 すり鉢	埋土	1/2	器高12.0 口径(29.2) 底径13.0	◎普通 ◎にぶい赤褐色2.5YR4/4、断面淡黄色2.5YR8/3	鉄泥を施し、底部外面のみ拭い取る。外面口縁部下回転篋削り。口縁部は外面に折り返すように肥厚し、凹線状に2条窪ませる。底部外面に「大平産」「岸佐造」の刻印。3片接合。
I-1	煙管	埋土	雁首			直線上の本体に火皿を載せる。上面に叩き痕。

櫛島川端 20区9号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	肥前磁器 染付皿	埋土	口縁1/3欠	器高3.7 口径14.4 底径8.6	◎不良 ◎白色	蛇ノ目凹形高台。体部外面簡略化した唐草文。体部内面いわゆる蛸唐草文を描く。底部内面は三方割銀杏文。透明釉は白濁する。3片接合。
P-2	瀬戸・美濃陶器 双耳壺	埋土	体部上半 1/2欠	器高9.3 口径8.3 底径7.4	◎やや不良 ◎浅黄色	口縁部から高台脇まで灰釉を施す。釉には細かい貫入が入る。外面肩部以下回転篋削り。内面鉄分の付着が多く、お歯黒壺として使用された可能性がある。
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	寛永通寶	埋土	完形	外径24.8~24.9、内径20.2~20.5	古寛永。	
M-2	寛永通寶	埋土	完形	外径25.0、内径20.0~20.2	文銭。	

櫛島川端 21区1号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
I-1	煙管	埋土	吸い口			羅字挿入部に段を付ける。吸い口先端欠損。

櫛島川端 21区5号溝(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	肥前磁器 染付鉢	埋土	口縁部1/4 欠損	器高6.1 口径14.8 底径6.9	◎普通 ◎白色	蛇ノ目凹形高台。内面に海浜風景を描く。20片が接合し、内2片が被熱する。やや焼成不良で貫入が入る。
P-2	肥前磁器 染付筒形碗	1埋土	4/5	器高5.3 口径6.5 底径3.5	◎普通 ◎白色	口縁部歪む。外面格子目文と2カ所に笹文を施す。底部内面には不明文様。口縁部やや歪む。6片接合。
P-3	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	1/2	器高5.0 口径8.3 底径3.0	◎普通 ◎灰白色	外面窓文内に草文と列点を描き、窓文外には格子文を施す。底部内面不明文様を描く。3片接合。4号溝出土片と接合。
P-4	瀬戸・美濃? 陶器ひょうそく	1埋土	口縁部3/4 欠損	器高5.7 口径(4.7) 底径4.0	◎やや緻密 ◎普通 ◎青灰色	脚外面右回転糸切り後穴をあける。脚端部以外に鉄釉を施す。灯芯立ては「ハ」の字状に切り込みを入れる。
P-5	瀬戸・美濃陶器 染付丸碗	1埋土	1/3	器高4.9 口径(9.1) 底径(4.3)	◎やや緻密 ◎普通 ◎青灰色	外面に笹文を描く。釉に貫入入る。2片接合。
P-6	肥前磁器 染付筒形碗	1埋土	3/4	器高5.4 口径7.3 底径3.6	◎やや焼成不良 ◎灰白色	外面に不明文様と菊花散文を交互に各2カ所描く。底部内面には不明文様。外面高台脇には釉下にひびが認められる。12片接合。

櫛島川端 21区5号溝 (2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-7	肥前磁器 染付筒形碗	1埋土	3/4	器高5.6 口径7.0 底径3.7	㊟やや焼成不良 ㊟灰白色	外面に菊花散らし文、底部内面に簡略化した五弁花文を描く。高台内から高台脇被熱する。4片接合。
P-8	肥前磁器 染付広東形碗	1埋土	2/3	器高5.5 口径11.6 底径5.7	㊟普通 ㊟灰白色	外面に樓閣山水を描く。内面は無文で目痕3カ所残る。波佐見系か。2次的な被熱あり。17片接合。
P-9	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	3/4	器高4.3 口径7.2 底径3.0	㊟良好 ㊟白色	外面の三方に花卉文、内底に不明文様を描く。5片接合。
P-10	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	1/2	器高4.3 口径7.1 底径3.1	㊟良好 ㊟白色	外面の三方に花卉文、内底に不明文様を描く。7片接合。
P-11	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	4/5	器高5.3 口径8.4 底径3.4	㊟普通 ㊟灰白色	線描きのみ染付で植物文、梅樹文、鳥文をそれぞれ1カ所描く。内底は驚か。
P-12	肥前磁器 染付猪口	1埋土	口縁一部欠	器高5.1 口径7.0 底径4.9	㊟普通 ㊟白色	蛇ノ目凹形高台、外面に雪持笹状の文様。内底に不明文様。5片接合。
P-13	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	1/2	器高6.0 口径11.1 底径4.4	㊟普通 ㊟灰白色	波佐見系。外面に丸文、内底にコンニャク判による五弁花を施す。器壁厚い。14片接合。2次的な弱い被熱。
P-14	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	3/4	器高5.6 口径8.3 底径3.5	㊟やや焼成不良 ㊟灰白色	外面に植物葉を描く。焼成不良により、胎土は青味を帯び、釉は白濁する。2片接合。
P-15	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	1/2	器高5.5 口径8.6 底径3.5	㊟普通 ㊟灰白色	外面に簡略化した四方樽状と格子文を描く。内面に不明文様を細線で描く。12片接合。
P-16	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	3/4	器高5.7 口径8.4 底径3.3	㊟普通 ㊟灰白色	外面に簡略化した四方樽状と格子文を描く。内面に不明文様を細線で描く。11片接合。
P-17	肥前磁器 染付鉢	1埋土	1/2	器高6.0 口径(14.8) 底径(6.0)	㊟普通 ㊟白色	蛇ノ目凹形高台。内面に海浜風景を描く。13片接合。
P-18	肥前磁器 染付広東形碗 蓋	1埋土	口縁一部欠	器高2.1 口径10.1 つまみ5.3	㊟普通 ㊟白色	外面に海浜風景、つまみ内に鳥を描く。内面は不明文様。2片接合。
P-19	肥前磁器 染付広東形碗 蓋	1埋土	口縁1/2欠	器高2.6 口径10.0 つまみ5.5	㊟普通 ㊟白色	内外面共にP-18と同文様であるが、簡略化されている。10片接合。やや器壁厚い。
P-20	瀬戸・美濃陶 器 碗	1埋土	口縁一部 底部完	器高5.1 口径8.8 底径4.1	㊟普通 ㊟青灰色	口縁部から内面に貫入の入る灰釉、体部外面から高台内に鉄釉を施す。体部外面に螺旋状の凹線を巡らす。腰錆碗。
P-21	瀬戸・美濃陶 器 小碗	1埋土	1/2欠	器高3.9 口径6.3 底径3.1	㊟やや不良 ㊟灰白色	灰釉を施す。釉に貫入する。高台脇以下無釉。貼り付け高台。
P-22	瀬戸・美濃陶 器 小碗	1埋土	口縁2/3欠	器高3.6 口径5.9 底径3.1	㊟良好 ㊟灰白色10 YR7/1、釉灰色7.5 YR6/1	灰釉を施す。高台脇以下無釉。焼成が良好で焼き締まる。2片接合。
P-23	瀬戸・美濃陶 器 碗	1埋土	口縁1/2欠	器高5.4 口径9.4 底径4.0	㊟普通 ㊟青灰色	口縁部から内面に貫入の入る灰釉、体部外面から高台内に鉄釉を施す。体部外面に螺旋状の凹線を巡らす。腰錆碗。2片接合。
P-24	肥前磁器 染付猪口	1埋土	1/3	器高6.0 口径7.0 底径(3.9)	㊟普通 ㊟白色	二次的な被熱。2片接合。
P-25	瀬戸・美濃陶 器 小碗	1埋土	口縁1/4欠	器高3.5 口径6.8 底径3.4	㊟普通 ㊟灰白色	高台脇以下を除き明黄褐色の灰釉を施す。外面口縁部以下は回転篋削り。高台は基筒底状を呈する。

榑島川端 21区5号溝 (3)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-26	製作地不詳 カンテラ	1埋土	底部、体部 1/5欠	口径(4.7)	◎良好 ◎灰白色	底部と口縁端部を除き灰釉を施す。細かい貫入入る。灯芯と立てる口は1カ所である。3片接合。
P-27	肥前磁器 青磁瓶	1埋土	口縁	口径8.8	◎普通 ◎白色	口縁部は外反し、端部を上方に引き上げる。二次的な被熱。
P-28	瀬戸・美濃陶 器 碗	1埋土	口縁一部欠	器高3.9 口径6.0 底径3.3	◎普通 ◎青灰色	灰釉を施す。釉に不規則な貫入入る。高台脇以下無釉。高台端部幅広い。2片接合。
P-29	肥前磁器 染付猪口	1埋土		器高6.1 口径6.9 底径4.3	◎普通 ◎白色	外面下半に 文を描く。4片接合。
P-30	瀬戸・美濃磁 器? 染付碗	1埋土	2/3	器高5.0 口径9.8 底径3.6	◎良好 ◎白色	人造呉須を使用した型紙摺り。明治～大正。
P-31	製作地不詳 染付レンゲ	1埋土	体部3/4		◎良好 ◎白色	先端部と握り基部に天然呉須で濃みを施す。3片接合。
P-32	肥前磁器 染付壺	1埋土	上半1/2欠	器高14.2 口径9.1 底径7.0	◎普通 ◎白色	口縁端部の釉を掻き取っており、蓋付と考えられる。外面には海浜風景と草文を表裏に描く。器表には細かい使用痕と思われる傷が多く認められる。13片接合。
P-33	肥前磁器 仏飯器	1埋土	脚部欠	口径6.5	◎やや不良 ◎灰白色	釉厚にむらがあり、呉須の発色も良くない。外面には菊花散らし文を描く。5片接合。
P-34	肥前磁器 仏飯器	1埋土	口縁一部欠 脚部欠	口径(7.1)	◎良好 ◎白色	外面に簡略化した龍と飛雲を2方に描く。3片接合。
P-35	肥前磁器 染付瓶	1埋土	体部一部欠	器高10.5 口径1.8 底径5.0	◎普通 ◎白色	体部に梅、竹、草文を描く。肩部にはいわゆる蛸唐草を描く。4片接合。
P-36	肥前磁器 染付瓶	1埋土	底部完 体部1/2	底径4.9	◎不良 ◎灰白色	体部外面にいわゆる蛸唐草を描く。内面無釉。8片接合。
P-37	肥前磁器 染付火入れ	1埋土	1/3欠	器高6.9 口径9.5 底径7.5	◎やや不良 ◎灰白色	蛇ノ目凹型高台。内面口縁部下と蛇ノ目部は無釉。外面2方に竹を描く。口縁端部には細かい欠けが認められる。11片接合。
P-38	肥前磁器 染付火入れ	1埋土	底部完 体部1/2	器高8.0 口径9.5 底径7.2	◎良好 ◎白色	蛇ノ目凹型高台。内面口縁部以下と蛇ノ目部は無釉。外面に2重線による格子目を描く。外面口縁部から端部は濃みを入れる。10片接合。
P-39	在地?土器 皿	1埋土	口縁1/3欠	器高2.0 口径9.4 底径3.1	◎黒色・白色鈳物少量含む。◎良好 ◎ 橙色7.5YR6/6 黒 褐色7.5YR1/3	轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。底径小さく、体部は大きく広がる。器表は橙色と黒褐色であるが、橙色は器表のみである。胎土はやや緻密である。
P-40	在地土器 皿	1埋土	1/2	器高2.2 口径(10.0 底径(7.2)	◎白色鈳物含む ◎普通 ◎灰黄色	轆轤成形。底部左回転糸切り無調整。体部僅かに外反して立ち上がる。
P-41	瀬戸・美濃陶 器 灯明皿受け皿	1埋土	3/4	器高2.1 口径10.3 底径4.7	◎普通 ◎褐灰色 7.5YR4/1、断面明 褐灰色7.5YR7/1	外面口縁部下回転篋削り。全面に鉄泥を施した後、外面体部以下の釉を拭い取る。受け部に切り込みは「U」字型で1カ所である。
P-42	肥前磁器 染付鉢	1埋土	一部欠	器高6.3 口径9.8 底径4.7	◎良好 ◎白色	高台は円形であるが、体部から口縁部を8角形にする。8角形の1辺に梅と草文を交互に描く。8片接合。
P-43	肥前磁器 染付鉢	1埋土	体部一部欠	器高8.1 口径16.0 底径7.7	◎良好 ◎白色	蛇ノ目凹型高台。高台高い。体部と口縁部は8角形を呈する。外面と口縁部内面には渦巻き状の唐草と格子状文、底部内面には軍配と瓢箪を描く。28片接合。二次的な被熱。破片により被熱の度合いが異なる。
P-44	肥前?磁器 染付水滴	1埋土	1/4欠	器高6.9 幅11.2	◎普通 ◎白色	底部内外面布痕。天井部外面は型押しにより菊を浮き出させ、葉に呉須を施す。注ぎ口と反対の木口部は無釉。空気穴は葉の部分に小さく開ける。6片接合。

櫛島川端 21区5号溝 (4)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-45	製作地不詳 土瓶	1埋土	口縁部 4/5、体部 一部欠	器高10.1 口径5.2 底径6.3	㊦やや緻密 ㊦良好 ㊦灰白色	体部外面下位を除き緑色釉を施す。底部脇に小さい脚を3カ所貼り付ける。焼継。二次的な被熱により釉が一部赤変する。24片接合。
P-46	瀬戸・美濃陶器 油徳利	1埋土	取っ手欠 口縁一部欠	器高15.5 口径2.0 底径6.5	㊦普通 ㊦青灰色	肩部に突帯を巡らし、一カ所に油が流れ込む穴を開ける。全面に鉄泥を施し、底部のみ拭い取る。二次的な被熱著しく、釉色が黒変している。
P-47	瀬戸・美濃陶器 汁注ぎ	1埋土	取っ手欠	器高8.5 口径7.3 底径6.0	㊦普通 ㊦灰白色	外面に鉄泥を施す。高台脇以下と内面無釉。内面に油状のものが付着しており、油注ぎとして使用されていたと考えられる。
P-48	瀬戸・美濃？ 陶器 汁注ぎ蓋	1埋土	口縁1/2欠	器高1.8 径7.9	㊦普通 ㊦灰白色	汁注ぎの落とし蓋。下面は無釉。上面は鉄泥を施す。47より径が小さく、別個体の蓋である。
P-49	肥前磁器 染付端反碗	1埋土	口縁一部欠	器高6.2 口径11.7 底径4.6	㊦普通 ㊦白色	高台「ハ」字状に開く。口縁部外反する。外面には「壽福壽」の文字と墨弾きによる松竹梅文を一對づつ描く。口縁部内面は墨弾きによる雷文帯、内底は鶴を描く。9片接合。
P-50	肥前磁器 染付端反碗蓋	1埋土	つまみ一部 欠	器高3.1 口径10.0 つまみ径4.3	㊦普通 ㊦白色	天井部外面に「壽福壽」の文字と墨弾きによる松竹梅文を一對づつ描く。口縁部内面は墨弾きによる雷文帯を描く。49の蓋。二次的な被熱。10片接合。
P-51	肥前磁器 染付小鉢	1埋土	口縁1/2欠	器高5.0 口径9.2 底径4.4	㊦良好 ㊦白色	口縁端部内面釉を掻き取る。外面丸文を描く。底部内面には浅い螺旋状の凹線を巡らす。52の身。11片接合。
P-52	肥前磁器 染付小鉢蓋	1埋土	天井部一部 欠	器高3.0 口径8.6	㊦良好 ㊦白色	天井部外面に丸文を描く。身と接する部分は無釉。リボン状のつまみを貼り付ける。10片接合。51の蓋である。
P-53	肥前磁器 染付小皿	1埋土	1/4欠	器高2.5 口径9.9 底径5.8	㊦普通 ㊦青灰色	志田諸窯。内面に楼閣山水文を描く。口鏝。二次的な被熱著しい。7片接合。
P-54	肥前磁器 染付小皿	1埋土	口縁1/3欠	器高2.7 口径10.0 底径5.8	㊦普通 ㊦灰白色	志田諸窯。内面に楼閣山水文を描く。口鏝。7片接合。
P-55	肥前磁器 染付小皿	1埋土	底部3/4 口縁一部	器高2.5 口径(10.0) 底径5.7	㊦普通 ㊦灰白色	志田諸窯。内面に楼閣山水文を描く。口鏝。二次的な被熱著しい。6片接合。
P-56	肥前磁器 染付皿	1埋土	口縁1/4欠	器高4.0 口径12.9 底径7.6	㊦普通 ㊦青灰色	口縁部輪花に作る。外面簡略化した唐草文、内面梅と不明文様を描く。底部内面コンニャク判による五弁花。花。外底1重角福。波佐見系。5片接合。
P-57	肥前磁器 染付皿	1埋土	口縁一部欠	器高4.0 口径13.5 底径7.8	㊦普通 ㊦青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦福。内面二次的な被熱。波佐見系。16片接合。
P-58	肥前磁器 染付皿	1埋土	口縁1/4欠	器高4.0 口径13.2 底径7.5	㊦普通 ㊦青灰色	口縁部輪花に作る。外面簡略化した唐草文、内面梅と不明文様を描く。底部内面コンニャク判による五弁花。外底1重角福。波佐見系。7片接合。二次的な被熱。
P-59	肥前磁器 染付皿	1埋土	口縁1/4欠	器高4.5 口径13.8 底径7.9	㊦良好 ㊦青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦福。口縁端部二次的な被熱。波佐見系。17片接合。
P-60	肥前磁器 染付皿	1埋土	口縁1/2欠	器高3.1 口径13.5 底径6.8	㊦普通 ㊦青灰色	内面蛇ノ目軸刺ぎ。内面簡略化した唐草とコンニャク判による五弁花。内底二次的な被熱。波佐見系。3片接合。
P-61	肥前磁器 染付皿	1埋土	1/4欠	器高4.1 口径13.2 底径7.7	㊦普通 ㊦青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦福。全面二次的な被熱。波佐見系。5片接合。
P-62	肥前磁器 染付皿	1埋土	一部欠	器高4.1 口径13.2 底径7.8	㊦良好 ㊦灰白色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦福。波佐見系。16片接合。

櫛島川端 21区5号溝(5)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-63	肥前磁器 染付皿	1埋土	一部欠	器高3.9 口径13.5 底径7.7	㊟普通 ㊟青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦福。部分的に弱い被熱。波佐見系。25片接合。
P-64	肥前磁器 染付皿	1埋土	1/5欠	器高4.2 口径13.6 底径7.5	㊟良好 ㊟灰白色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦福。波佐見系。6片接合。
P-65	肥前磁器 染付皿	1埋土	1/6欠	器高3.9 口径13.6 底径7.4	㊟普通 ㊟青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦福。部分的に二次的な被熱。波佐見系。13片接合。
P-66	肥前磁器 染付皿	1埋土	一部欠	器高4.0 口径13.6 底径7.5	㊟普通 ㊟青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦福。部分的に二次的な被熱。波佐見系。21片接合。
P-67	肥前磁器 染付皿	1埋土	1/3欠	器高4.2 口径13.6 底径8.1	㊟良好 ㊟灰白色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦福。波佐見系。14片接合。
P-68	瀬戸・美濃磁器 染付碗	1埋土	1/2	器高5.0 口径9.4 底径4.0	㊟良好 ㊟白色	端反碗。外面梅花文を散らす。透明釉はやや青みを帯びる。2片接合。
P-69	瀬戸・美濃磁器 染付碗	1埋土	1/2	器高5.0 口径9.4 底径4.1	㊟良好 ㊟白色	端反碗。外面梅花文を散らす。透明釉はやや青みを帯びる。2片接合。
P-70	肥前磁器 染付碗	1埋土	1/5欠	器高3.9 口径8.4 底径(3.5)	㊟普通 ㊟灰白色	小型広東形碗。外面は楼閣山水文、内底は不明文様を描く。二次的な被熱。7片接合。濃みに一部違いがあるが、74とセットであろう。
P-71	瀬戸・美濃磁器 染付碗	1埋土	1/2	器高4.8 口径9.2 底径4.0	㊟良好 ㊟白色	端反碗。外面梅花文を散らす。透明釉はやや青みを帯びる。3片接合。
P-72	瀬戸・美濃磁器 染付碗	1埋土	一部欠	器高5.0 口径9.2 底径4.2	㊟良好 ㊟白色	端反碗。外面梅花文を散らす。透明釉はやや青みを帯びる。8片接合。
P-73	瀬戸・美濃磁器 染付碗	1埋土	体部1/2欠	器高4.9 口径9.2 底径3.4	㊟普通 ㊟白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。二次的な被熱。8片接合。
P-74	肥前磁器 染付碗	1埋土	一部欠	器高4.0 口径8.9 底径3.3	㊟良好 ㊟白色	小型広東形碗。外面は楼閣山水文、内底は不明文様を描く。呉須の発色は良い。弱い二次的な被熱。10片接合。
P-75	肥前磁器? 染付小碗	1埋土	1/4欠	器高3.6 口径8.5 底径3.2	㊟不良 ㊟灰白色	外面梅の折れ枝文を描く。胎土は磁化していない。釉は縮れたようになり全体に掛かっている。二次的な被熱。4片接合。
P-76	肥前磁器 染付小碗	1埋土	口縁1/2 底部完	器高3.8 口径8.2 底径2.9	㊟やや不良 ㊟灰白色	外面に不明文様を描く。主文様は欠損する。波佐見系。
P-77	瀬戸・美濃磁器 碗	1埋土	体部一部欠	器高4.7 口径9.5 底径3.1	㊟普通 ㊟白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。二次的な被熱。11片接合。
P-78	瀬戸・美濃磁器 碗	1埋土	口縁1/2欠	器高4.8 口径9.3 底径3.2	㊟良好 ㊟白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。3片接合。
P-79	瀬戸・美濃磁器 碗	1埋土	口縁一部欠	器高4.9 口径9.4 底径3.4	㊟普通 ㊟白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。3片接合。
P-80	瀬戸・美濃磁器 碗	1埋土	口縁1/4欠	器高4.9 口径9.5 底径3.5	㊟普通 ㊟白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。二次的な被熱。6片接合。
P-81	瀬戸・美濃磁器 碗	1埋土	高台欠 口縁一部	器高一 口径(9.5) 底径-	㊟良好 ㊟白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。4片接合。

櫛島川端 21区5号溝 (6)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-82	瀬戸・美濃磁器碗	1埋土	口縁1/2欠	器高4.9 口径9.3 底径3.3	◎普通 ◎白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。二次的な被熱。10片接合。
P-83	瀬戸・美濃磁器碗	1埋土	口縁一部欠	器高4.9 口径9.1 底径2.8	◎良好 ◎白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。二次的な被熱。12片接合。
P-84	肥前磁器? 染付徳利	1埋土	口縁部欠 体部1/4欠	底径9.1 最大径16.0	◎不良 ◎青灰色	外面一方に大きく植物文を大きく描く。胎土の色調により器表青灰色を呈する。部分的に二次的な被熱。45片接合。
P-85	瀬戸・美濃陶器片口鉢	1埋土	底部1/4欠	器高8.4 口径16.6 底径8.8	◎普通 ◎青灰色	削り出し高台。高台脇篔削りにより段を付ける。高台脇以下を除き灰釉を施す。内底目跡2カ所残る。体部の立ち上がりは直線的。7片接合。
P-86	在土器火消壺蓋	1埋土	口縁一部欠 つまみ欠	口径(25.5)	◎普通 ◎部分的に 鈍い橙色、黒灰色	天井部外面型押しによる剝離材痕残る。口縁部回転横撫で。肩部篔削り。天井部内面回転横撫で。つまみ貼り付け。10片接合。
P-87	制作地不詳陶器大皿	1埋土	一部欠	器高7.8~7.3 口径26.5 底径17.7	◎白色鈳物多く含む。 ◎普通 ◎赤褐色から 灰褐色	高台脇以下無釉。灰オリーブ色の釉を掛ける。高台幅広い。内底目跡5カ所。23片接合。
P-88	在土器焙烙	1埋土	1/3	器高4.4 口径3.5 底径32.8	◎白色鈳物少量含む。 ◎普通 ◎にぶい橙 色5YR6/4	底部外面型押しによる剝離材痕残る。体部外面から内面回転横撫で。内面底部周縁はなだらかに体部に移行する。耳は1カ所残存。10片接合。
P-89	信楽?陶器すり鉢	埋土	1/5	口径(37.9)	◎礫・長石多く含む。 ◎普通 ◎内面淡赤 橙色2.5YR7/3、外面 橙色2.5YR6/6	口縁部に薄く鉄泥を施し、体部に流れる。外面轆轤目顕著。口縁部外面は凹線状に窪む。口縁部内面も凹線状に強く撫でる。2片接合。20区9溝と接合。
P-90	堺・明石陶器すり鉢	1埋土	口縁一部欠	器高11.3 口径28.2 底径13.7	◎良好 ◎赤色10R 4/6	体部外面回転篔削り。底部外面砂付着。口縁部内外面凹線状に窪む。底部内面使用により摩滅する。二次的な被熱。12片接合。
P-91	在土器十能	1埋土	取っ手欠		◎白色鈳物含む。 ◎普通 ◎橙色・黒 灰色	外面型押しによる剝離材痕残る。内面撫で。2片接合。接合部で明瞭に色調が異なる。割れた後に二次的に熱を受ける。
P-92	在土器火鉢?	1埋土	一部欠	器高9.1 1辺27.7	◎鈳物含む。◎普通 ◎橙色	平面方形を呈し、底部に半球形の脚を4個貼り付ける。底部外面型押しによる剝離材痕残る。口縁部端部熱により剝離・変色する。暖房具ではなく厨房具か。11片接合。
P-93	堺・明石陶器すり鉢	1埋土	一部欠	器高11.7 口径31.1 底径16.0	◎普通 ◎鈍い赤褐 色から暗赤灰色	体部外面回転篔削り。底部外面砂付着。口縁部内外面凹線状に窪む。底部内面使用により摩滅する。35片接合。接合部で色調が異なり、割れた後二次的に被熱。
P-94	瀬戸・美濃陶器練り鉢	1埋土	1/4欠	器高18.2 口径30.7 底径15.7	◎普通 ◎にぶい褐 色2.5YR5/4	口縁部外方に折り返す。高台脇以下を除き灰釉を施す。口縁部から体部に銅緑釉を流し掛ける。部分的に弱い二次的な被熱。
P-95	瀬戸・美濃磁器染付碗	1埋土	口縁1/2 底部完	器高4.9 口径9.3 底径4.1	◎良好 ◎白色	端反碗。外面梅花文を散らす。透明釉はやや青みを帯びる。6片接合。
P-96	常滑陶器壺	1埋土	体部上半	口径(46.5)	◎内外面灰褐色 7.5YR5/2、断面橙色 2.5YR6/6	口縁部は厚く、外方に水平に延びる。49片接合。内面には炭酸カルシウム状の白色物が付着する。便所の壺であろう。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	砥石	埋土	2/3	長さ9.5 幅2.9 厚さ2.1 重さ94	砥沢石	3面にたがね状工具痕残る。
S-2	硯	埋土	ほぼ完形	長さ17.3 幅6.3 厚さ2.4重さ310	人造	陸の左側使用により窪む。
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	不明銅製品	埋土	1/2か			金具の一部か
M-2	寛永通寶	埋土	完形	外径23.6~24.0、内径19.8~20.5		銅、1文銭。



公田東 I区4号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	埋土	完形	外径22.7~22.8、内径18.9~19.2	銅1文銭。

公田東 I区5号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	開元通寶	埋土	完形	外径22.7~23.0、内径18.3~18.6	唐、845年初鑄。

公田東 III区10号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	文久永寶	埋土	完形	外径26.0~26.2、内径19.8		
番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ (cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-1	漆碗	埋土		横木	全面朱漆仕上げの碗。外面の漆はほとんど剥離している。	242
W-2	漆碗	埋土		横木	高台と口縁部を欠損する。内面を朱漆、外面を黒漆で仕上げ、外面に朱漆で草文を描き、高台内に朱漆で屋号を記す。	241
W-3	刷毛?	埋土	12.8×9.4~1.8×1.0	板目	糊づけなどをする際に使用する刷毛の本体であろう。植毛は、両端に挟んだのであろうか。	238
W-4	柄杓柄	埋土	28.0×2.7×1.9	割材	角材の一方を細く削り、角を取って断面六角形とする。先端は段を付けて細く仕上げる。取っ手側には、側板を接合した漆が付着している。	247
W-5	下駄	埋土	15.4×7.5×2.1	横木	近・現代の子供用下駄。前の鼻緒を付ける部分に丸い窪みを有する。半円形の金属をはめていたのであろう。	245
W-6	用途不明	埋土	直径：11.0×厚さ：1.0	板目	断面台形を呈する円盤状木製品である。周囲の削りは粗く、容器底板ではない。欠損部には木釘が2本認められ、2枚板で円形を形作っていたと考えられる。	240
W-7	用途不明	埋土	直径：8.7×厚さ：0.8	柾目	円盤状を呈する。中央には円を描いた際に使用したと推定される中心点が認められる。	239
W-8	柄杓底板?	埋土	直径：14.0×厚さ：0.5	おい柁	一部欠損。曲物側板と共に出土しており、曲物底板と考えられる。247から推定される直径と同じであり、柄杓の本体と考えられる。	246

公田東 IV区17号溝

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ (cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-1	用途不明	埋土	12.0×3.3×1.2	板目	小型の板材で、整った直方体を呈する。表面は丁寧に調整される。	237
W-2	杭	埋土	26.6*×3.4×3.3	丸木	樹皮の付いた丸材の一端を粗く尖らす。	235
W-3	板材	埋土	30.3*×2.7×0.6	おい柁	幅2.7cmの棒状の板材である。表面は調整されており、製品の一部の可能性がある。	234
W-4	樽	埋土	39.1*×5.4×2.0	板目	板目板の両端を斜めに丁寧に切断する。木取りから樽の底板もしくは蓋板であろう。	236

櫛島川端 6区1号井戸(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬戸・美濃陶器杯	埋土	1/4	口径(6.5)	◎普通 ◎灰黄色 2.5Y7/2	高台脇以下を除き灰釉を施す。釉に細かい貫入入る。外面体部下位以下回転篋削り。2片接合。
P-2	中国?磁器碗	埋土	1/4	底径(3.4)	◎普通 ◎白色	高台端部断面三角形に面取りする。外面暗褐色釉、内面透明釉を施す。明代。
P-3	瀬戸・美濃陶器杯	埋土	1/2	器高4.1 口径(6.8) 底径3.0	◎良好 ◎灰白色	灰釉を施す。高台外面から内面にかけて無釉。外面口縁部以下回転篋削り。不良品で底部に小孔がある。3片接合。

礪島川端 6区1号井戸(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	瀬戸・美濃陶器 香炉	埋土	1/2	器高4.5 口径5.3 底径3.1	◎良好 ◎灰白色	口縁部から外面体部下端灰釉を施す。貫入する。口縁端部内面内側に突出する。2片接合。
P-5	肥前磁器 染付碗	埋土	1/2	器高4.1 口径8.3 底径3.1	◎良好 ◎白色	外面コンニャク判により菱形の文様、筆により井桁状の文様を描く。波佐見系。
P-6	肥前磁器 染付碗	埋土	口縁1/4 底部完	器高5.1 口径(10.0) 底径3.8	◎普通 ◎青灰色	外面に雪輪梅樹文、高台内に不明文様を描く。4片接合。
P-7	瀬戸・美濃? 陶器 碗?	埋土	体部片		◎良好 ◎灰白色	細かい貫入の入る灰釉を施す。外面に鉄絵具で文様を描く。
P-8	瀬戸・美濃陶器 徳利	埋土	1/3	底径(6.2)	◎不良 ◎青灰色	底部外面を除き鉄泥を施す。体部下位を窪ませる。
P-9	瀬戸・美濃陶器 香炉	埋土	1/3	口径(10.0)	◎普通 ◎淡黄色5Y8/3	胎土・焼成・口縁部形態は4と同じ。外面に細かい貫入の入る灰釉を施す。体部外面下半轆轤目が目立つ。3片接合。
P-10	堺・明石陶器 すり鉢	埋土	口縁片		◎良好 ◎内面鈍赤褐色2.5YR4/3、外面暗赤褐色2.5YR3/2	口縁部内面突出する。外面口縁部下回転削り。
P-11	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土	口縁片		◎普通 ◎淡黄色2.5Y8/3	口縁部内面段をなす。口縁部肥厚する。鉄泥を施す。
P-12	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土下層	破片		◎普通 ◎断面浅黄橙色10YR8/3	口縁部外傾し、端部は肥厚する。鉄泥を施す。体部外面下端の釉は拭い取る。
P-13	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土	1/6	口径(31.0)	◎普通 ◎灰白色2.5Y8/2	口縁部外方に折り返すように肥厚する。鉄泥を施す。6片接合。
P-14	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土	1/2	底径12.9	◎普通 ◎にぶい橙色7.5YR6/4	底部右回転系切り無調整。鉄泥を施し、外面体部下端から底部の釉を拭い取る。使用により底部内面と底部外面周縁摩滅する。5片接合。
P-15	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土中層	口縁1/3欠	器高13.1 口径32.0 底径12.3	◎普通 ◎淡黄色2.5Y8/3	口縁部下位外面を凹線状に窪ませ、内面は突出する。口縁端部平坦。底部右回転系切り無調整。鉄泥を施す。内面底部周辺使用により摩滅する。10片接合。
P-16	在地土器 皿	埋土中層	1/2	器高2.3~2.0 口径9.5 底径6.9	◎黒色鉱物含む ◎普通 ◎明黄褐色10YR7/6	底部左回転系切り無調整。底部周縁外方に小さく突出する。口縁端部小さく立ち上がる。8片接合。軽い。
P-17	在地土器 皿	埋土上層	2/3	器高1.9 口径10.2 底径7.1	◎黒色鉱物含む ◎普通 ◎にぶい黄橙色10YR7/3	底部左回転系切り無調整。底部周縁外方に小さく突出する。口縁端部小さく立ち上がる。5片接合。軽い。
P-18	在地土器 鍋	埋土上層	破片	器高(12.3) 口径(36.8) 底径(19.9)	◎白色鉱物含む ◎普通 ◎灰色5Y4/1	内面調整は丁寧。口縁端部平坦。底部外面型作り時の剝離材痕。外面撫で調整。外面紐作り痕残る。外面煤付着。5片接合。中程は図上復元。
P-19	在地土器 鍋?	埋土上層	破片		◎白色鉱物含む ◎普通 ◎褐灰色、断面黒灰色	口縁部外面小さく突出する。口縁端部平坦。外面煤付着。3片接合。
P-20	在地土器 焙烙	埋土上層	破片		◎白色鉱物含む ◎普通 ◎褐灰色10YR6/1	底部内面から口縁部右内面に貼り付けた耳は欠損。体部外面器表黒色。
P-21	瓦	埋土	破片		◎夾雑物少ない ◎不良 ◎灰白色	片面に切断するためと考えられる切り込みがある。2片接合。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	砥石	埋土	1/3	長さ5.8 幅2.7 厚さ1.8	砥沢石	2面を主に使用。

櫛島川端 14区2号井戸(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他	
P-1	肥前陶器 皿	埋土	破片		㊟普通 ㊟灰黄褐色 10YR6/2	内面に青緑釉、外面に透明釉を施す。体部中位で屈曲する。内野山諸窯。	
P-2	製作地不詳磁器? 小碗	埋土下層	口縁1/3 底部完	器高4.0 口径(7.6) 底径2.6	㊟不良 ㊟灰白色 7.5Y7/1	外面口縁部下回転篋削り。高台は厚く、胎土は磁化していない。灰オリブ色がかった釉はやや不透明である。口縁部割れ口に漆付着。	
P-3	肥前磁器 染付碗	埋土下層	1/5	口径(9.9)	㊟普通 ㊟白色	外面に植物文を描く。	
P-4	瀬戸・美濃陶器 染付碗	埋土下層	1/2	器高5.6 口径(8.9) 底径3.6	㊟不良 ㊟灰白色	丸碗。外面に孟宗譚を描く。底部内面は帆掛け船か。釉にはピンホールがあき、一部白濁する。	
P-5	丹波・信楽陶器 すり鉢	埋土下層	小片		㊟普通 ㊟淡黄色	内面口縁部下位大きく凹線状に窪ませ、外面は外方に折れる。口縁端部は凹線状に窪み、更に外傾して延びる。	
P-6	瀬戸・美濃陶器 半胴甕	埋土下層	1/4	器高27.4 口径(27.9) 底径(17.0)	㊟普通 ㊟断面淡黄色 2.5Y8/3	柿釉を施し、外面体部下位以下は拭い取る。口縁部外面に2状の凹線巡らし、体部下端には2段の段差を付ける。内底に1カ所目跡残る。10片接合。	
P-7	在地土器 盤?	埋土下層	小片		㊟黒色鉾物含む。㊟ 普通 ㊟浅黄色2.5 Y7/3	器高低い。口縁端部折り返すように外方に延びる。割れ口の一方は平滑に擦られている。転用品か。	
P-8	在地土器 焙烙	埋土下層	小片	器高5.1	㊟黒色鉾物含む。㊟ 普通 ㊟断面・器表 黒灰色、器表下灰白色	外面紐作り痕残る。体部外面下半型作り痕残す。	
P-9	在地土器 焙烙	埋土下層	小片	器高5.3	㊟黒色鉾物粒含む。 ㊟内外面黒褐色 5 YR3/1、断面明褐色 灰色5 YR3/1	外面紐作り痕残る。体部外面下半型作り痕残す。内面耳の張り付け痕残る。耳は欠損。	
P-10	在地土器 焙烙	埋土下層	小片	器高5.3 口径(36.3)	㊟黒色鉾物含む。㊟ 普通 ㊟内外面黒色 10YR1.7/1、断面灰 黄色2.5Y7/2	外面紐作り痕残る。体部外面下半型作り痕残す。体部外面煤付着。	
番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)		木取り	特徴	登録 番号
W-1	栓状木製品	埋土	16.4×直径:1.6		丸木	細い丸木を使用した棒の一端にくびれを削り出す。	100
W-2	栓状木製品	埋土	16.5×直径:1.7		丸木	細い丸木の一端に穴を開け、他端はくびれを削り出す。くびれ部は摩滅している。	102
W-3	用途不明	埋土	8.5×直径:3.2			節を抜いた短い竹にほぞ穴をあけている。	99
W-4	漆碗	埋土			横木	内外面朱漆。体部外面下位は稜をなす。	103
W-5	容器底板	埋土	直径:19.7×厚さ:1.1		おい柁、板目	2枚の木取りの異なる板を木釘で合わせて円形とする。	98
W-6	容器底板	埋土	直径:20.0cm×厚さ:1.0cm		おい柁	2枚の板を木釘で合わせ、円形の板としている。表面には刃物傷が認められる。	97
W-7	容器底板	埋土	直径:18.5×厚さ:1.0		おい柁	欠損部に木釘が2本認められ、2枚の板を合わせて円形にしていたと考えられる。同一箇所から割った竹が出土しており、桶・樽の可能性が考えられる。	83

櫛島川端 2区4号井戸(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬戸・美濃陶器 碗	埋土	口縁1/2欠	器高5.2 口径10.4 底径4.1	㊟普通 ㊟淡黄色	高台内まで施釉。鉄釉と灰釉の掛け分け碗。9片接合。
P-2	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土下層	小片	口径(31.0)	㊟普通 ㊟淡黄色 2.5Y8/4断面	口縁部下位外面凹線状に窪ませる。口縁部肥厚する。4片接合。

櫛島川端 2区4号井戸(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	瓦	埋土下層	破片	幅10.2 厚さ2.3	㊦黒色鉱物含む。㊦やや不良 ㊦灰白色	熨斗瓦か。両木口欠損。片方の側面には削り痕が認められる。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石臼	埋土	挽き手部	孔3.1 厚さ9.2 重さ4,670g	粗粒輝石安山岩	埼玉北部から群馬県にかけて分布する、挽き手穴を外周に作りつける上臼。
S-2	石臼	埋土	1/2	直径33.7 厚さ15.2 重さ8,654g	粗粒輝石安山岩	下臼。すり目は磨滅する。

櫛島川端 2区5号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在地土器 焙烙	埋土下層	口縁小片		㊦黒色鉱物含む。㊦普通 ㊦器表黒灰色、断面灰白色	外面下半型作り時の痕跡明瞭に残す。口縁部から体部内面回転撫で調整。

櫛島川端 21区4号井戸

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録番号
W-1	漆椀	下層		横木	内面朱漆、外面黒漆仕上げ。底部外面には朱漆で屋号を記す。底部厚く、高台欠損する。	92

櫛島川端 21区9号井戸

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録番号
W-1	漆椀	底面		横木	器壁が薄く、体部外面下位に稜を有する。内面朱漆、外面褐色の漆仕上げ。	93㉔
W-2	漆椀	底面		横木	高台から底部外、口縁部面欠損する。内外面朱漆仕上げ。体部下位稜をなす。	93㉕

櫛島川端 6区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
M-1	鉄滓 椀状滓	表土	ほぼ完形	長さ5.4 幅5.7 厚さ2.5		椀状を呈し、下部には炭化物を挟む。

櫛島川端 20区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在地土器 香炉	ピット111	口縁片	口径(11.6)	㊦夾雑物ほとんど含まない。㊦良好 ㊦灰色7.5Y5/1	外面の器表は瓦のような色調と光沢を有する。口縁部外面には菊花状の押印を巡らす。口縁部内湾する。中世の所産である。
P-4	在地土器 焙烙	3号周溝墓 付近	一部欠	器高5.7 口径34.9	㊦鉱物含む。㊦やや軟質 ㊦黒灰色から鈍い黄褐色	体部と底部の境は丸みを帯びて移行する。丸底。耳は3カ所に貼り付ける。出土時には残存していた2カ所の耳に針金が付けられていた。耳には針金によって吊っていた際に生じた擦れが認められる。明治～昭和の所産である。
P-5	在地土器 香炉	ピット118	口縁片		㊦夾雑物ほとんど含まない。㊦良好 ㊦灰色7.5Y6/1	内外面の器表は瓦のような色調と光沢を有する。口縁部外面には菊花状の押印を巡らす。口縁部は内側に小さく折り返す。中世の所産である。

公田東 I区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	表土	完形	外径22.8~22.9、内径18.8~18.7	銅、1文銭。
M-2	寛永通寶	表土	完形	外径21.7、内径17.8~17.5	銅、1文銭。
M-3	寛永通寶	表土	完形	外径28.0~27.8、内径21.0~21.2	4文銭。背11波。

公田東 II区

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-2	寛永通寶	表土	完形	外径27.9、内径20.2	4文銭。背11波。やや歪む。
M-3	寛永通寶	表土	一部欠損	外径24.4~24.5、内径19.2	銅、1文銭。

公田東 III区

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	表土	完形	外径25.2~25.1、内径19.8~19.7	文銭。文銭。
M-2	寛永通寶	表土	完形	外径23.7~23.8、内径~	銅、1文銭。
M-3	寛永通寶	表土	2/3	計測不可能	文銭。古寛永。

公田池尻 5区

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	表土	完形	外径23.7~23.8、内径19.3~19.4	銅、一文銭。

公田池尻 8-3区

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	表土	一部欠損	計測不可能	銅、1文銭。

公田池尻 9区遺構外

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-5	不詳	表土	1/2か	長さ6.8 幅7.4 厚さ3.1 重さ178	玉髓	表面は摩滅して丸みを帯びる。遺跡地において認められる石材ではなく、目的をもって搬入されたものであるが、用途は不明。
S-6	火打石	表土	完形	長さ2.55幅2.15 重さ8g	玉髓	2カ所を使用する。大きさから携帯用火打金に使用された石であろう。

報告書抄録

ふりがな	ぬでしまかわばたいせき・くでんひがしいせき・くでんいけじりいせき							
書名	櫛島川端遺跡・公田東遺跡・公田池尻遺跡							
副書名	主要地方道前橋長瀬線道路改築（改良）工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	第2集							
シリーズ名	（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書							
シリーズ番号	第225集							
編著者名	下城 正、追川佳子、大西雅広、佐藤明人、藤巻幸男、右島和夫、諸田康成、横山千晶							
編集機関	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒377-8555 群馬県勢多郡北橋村大字下箱田784-2 Tel 0279-52-2511							
発行年月日	1997年3月25日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ぬでしまか わばた 櫛島川端 くでんひが し 公田東 くでんいけ じり 公田池尻	まえばしし ぬでしまま ち・くでん まち・かみ さとりまち 前橋市櫛島 町・公田町 ・上佐鳥町	10201		36° 20' 40°	139° 7' 30°	19900101～ 19960329  詳細は例言 参照	24,876  7,375  12,520	道路改良工 事に伴う事 前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
櫛島川端	集落 生産 墓	弥生後期 古墳 奈良・平安 中世 近世	弥生以降竪穴住居 古墳前期周溝墓 古墳以降水田・畠 中世環壕集落 中世火葬所 近世集落	弥生土器 土師器、須恵器 中世陶磁器、石臼 近世陶磁器、石臼、砥石 中世火葬骨		幕末の良好な一括資料が 出土。		
公田東	集落 生産 墓	古墳 奈良・平安 中世	古墳前期周溝墓 古墳以降竪穴住居 古墳以降水田・畠 中世環壕集落	土師器底部穿孔壺など 土師器、須恵器 中世陶磁器、石臼、板碑		前方後方形周溝墓が調査 され、溝から良好な土器 群が出土した。 鶏形土製品も出土。		
公田池尻	集落 生産	古墳 奈良・平安 中世	古墳以降竪穴住居 古墳以降水田・畠 中世環壕集落	土師器、須恵器 中世陶磁器、石臼		初期貿易陶磁（白磁）片 1点出土。		



勸群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書第225集

礪島川端遺跡  
公田東遺跡  
公田池尻遺跡  
〈本文編〉

(主)前橋長瀬線道路改築(改良)工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書第2集

平成9年(1997年)3月20日印刷

平成9年(1997年)3月25日発行

編集／勸群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2  
電話(0279)52-2511(代表)

印刷／上毎印刷工業株式会社